

0001

視能矯正の枠組み > 理念・目的・業務・職業倫理 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「視能矯正は検査値のみを整えることが目的ではなく、視機能を評価し、必要な訓練・支援を通じて患者の生活機能を高めることを目指す。」

ア．利益相反が専門判断へ与える影響

イ．視能矯正の目的を患者中心に説明

ウ．守秘義務の継続性

エ．患者の尊厳を守る検査環境を整えられる

0002

視能矯正の枠組み > 理念・目的・業務・職業倫理 | 難易度：基礎

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「視能訓練士法では、厚生労働大臣の免許を受け、医師の指示の下で両眼視機能回復のための矯正訓練等を行うことが定められている。」

ア．利益相反が専門判断へ与える影響

イ．患者の自己決定を尊重した説明が

ウ．患者の尊厳を守る検査環境を整えられる

エ．視能訓練士の法的業務範囲

答え・解説

正答：イ

ア：「利益相反が専門判断へ与える影響」は別の論点である。主な要点は「利益相反そのものが直ちに不正を意味するわけではないが、研究判断へ影響する可能性があるため開示と管理が重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「視能矯正の目的を患者中心に説明」の要点を示している。視能矯正は検査値のみを整えることが目的ではなく、視機能を評価し、必要な訓練・支援を通じて患者の生活機能を高めることを目指す。

ウ：「守秘義務の継続性」は別の論点である。主な要点は「視能訓練士の守秘義務は在職中だけに限定されない。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「患者の尊厳を守る検査環境を整えられる」は別の論点である。主な要点は「患者の尊厳と自律性を守るには、感覚・認知・言語等の特性に合わせて情報提供方法を調整する必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「理念・目的・業務・職業倫理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「利益相反が専門判断へ与える影響」は別の論点である。主な要点は「利益相反そのものが直ちに不正を意味するわけではないが、研究判断へ影響する可能性があるため開示と管理が重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「患者の自己決定を尊重した説明が」は別の論点である。主な要点は「患者の自律性を尊重するには、必要な情報を理解可能な形で説明し、疑問を解消した上で意思決定を支援することが重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「患者の尊厳を守る検査環境を整えられる」は別の論点である。主な要点は「患者の尊厳と自律性を守るには、感覚・認知・言語等の特性に合わせて情報提供方法を調整する必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「視能訓練士の法的業務範囲」の要点を示している。視能訓練士法では、厚生労働大臣の免許を受け、医師の指示の下で両眼視機能回復のための矯正訓練等を行うことが定められている。

総合解説：この問題は「理念・目的・業務・職業倫理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0003

視能矯正の枠組み > 理念・目的・業務・職業倫理 | 難易度：標準

「理念・目的・業務・職業倫理」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「視能訓練士の守秘義務は在職中だけに限定されない。」

ア．利益相反が専門判断へ与える影響
イ．患者の自己決定を尊重した説明が
ウ．視能矯正の目的を患者中心に説明
エ．守秘義務の継続性

答え・解説

正答：エ

ア：「利益相反が専門判断へ与える影響」は別の論点である。主な要点は「利益相反そのものが直ちに不正を意味するわけではないが、研究判断へ影響する可能性があるため開示と管理が重要である。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「患者の自己決定を尊重した説明が」は別の論点である。主な要点は「患者の自律性を尊重するには、必要な情報を理解可能な形で説明し、疑問を解消した上で意思決定を支援することが重要である。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「視能矯正の目的を患者中心に説明」は別の論点である。主な要点は「視能矯正は検査値のみを整えることが目的ではなく、視機能を評価し、必要な訓練・支援を通じて患者の生活機能を高めることを目指す。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「守秘義務の継続性」の要点を示している。視能訓練士の守秘義務は在職中だけに限定されない。

総合解説：この問題は「理念・目的・業務・職業倫理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0004

視能矯正の枠組み > 理念・目的・業務・職業倫理 | 難易度：基礎

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「検査目的・方法・負担を分かりやすく説明し、質問に答えた上で患者の意思を確認する。患者の自律性を尊重するには、必要な情報を理解可能な形で説明し、疑問を解消した上で意思決定を支援することが重要である。」

ア．視能訓練士の法的業務範囲
イ．患者の自己決定を尊重した説明が
ウ．守秘義務の継続性
エ．専門職として能力維持の必要性

答え・解説

正答：イ

ア：「視能訓練士の法的業務範囲」は別の論点である。主な要点は「視能訓練士法では、厚生労働大臣の免許を受け、医師の指示の下で両眼視機能回復のための矯正訓練等を行うことが定められている。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「患者の自己決定を尊重した説明が」の要点を示している。検査目的・方法・負担を分かりやすく説明し、質問に答えた上で患者の意思を確認する。患者の自律性を尊重するには、必要な情報を理解可能な形で説明し、疑問を解消した上で意思決定を支援することが重要である。
ウ：「守秘義務の継続性」は別の論点である。主な要点は「視能訓練士の守秘義務は在職中だけに限定されない。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「専門職として能力維持の必要性」は別の論点である。主な要点は「医療技術やエビデンスは更新されるため、継続学習と自己能力の把握は専門職として重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「理念・目的・業務・職業倫理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0005

視能矯正の枠組み > 理念・目的・業務・職業倫理 | 難易度：応用

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。

「視能訓練士法は医師その他の医療関係者との緊密な連携を求めている、患者の課題を多面的に捉えるためにも連携が重要である。」

ア．利益相反が専門判断へ与える影響

イ．多職種連携の必要性

ウ．患者安全を優先した業務判断が

エ．患者の尊厳を守る検査環境を整えられる

答え・解説

正答：イ

ア：「利益相反が専門判断へ与える影響」は別の論点である。主な要点は「利益相反そのものが直ちに不正を意味するわけではないが、研究判断へ影響する可能性があるため開示と管理が重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「多職種連携の必要性」の要点を示している。視能訓練士法は医師その他の医療関係者との緊密な連携を求めている、患者の課題を多面的に捉えるためにも連携が重要である。

ウ：「患者安全を優先した業務判断が」は別の論点である。主な要点は「患者数や業務効率よりも患者安全を優先し、異常機器の使用を継続しないことが基本である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「患者の尊厳を守る検査環境を整えられる」は別の論点である。主な要点は「患者の尊厳と自律性を守るには、感覚・認知・言語等の特性に合わせて情報提供方法を調整する必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「理念・目的・業務・職業倫理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0006

視能矯正の枠組み > 理念・目的・業務・職業倫理 | 難易度：標準

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。

「視機能検査は条件や患者協力の影響を受けるため、結果の解釈に必要な検査条件や問題点を客観的に残すことが重要である。」

ア．利益相反が専門判断へ与える影響

イ．患者安全を優先した業務判断が

ウ．患者の尊厳を守る検査環境を整えられる

エ．正確な診療記録の意義

答え・解説

正答：エ

ア：「利益相反が専門判断へ与える影響」は別の論点である。主な要点は「利益相反そのものが直ちに不正を意味するわけではないが、研究判断へ影響する可能性があるため開示と管理が重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「患者安全を優先した業務判断が」は別の論点である。主な要点は「患者数や業務効率よりも患者安全を優先し、異常機器の使用を継続しないことが基本である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「患者の尊厳を守る検査環境を整えられる」は別の論点である。主な要点は「患者の尊厳と自律性を守るには、感覚・認知・言語等の特性に合わせて情報提供方法を調整する必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「正確な診療記録の意義」の要点を示している。視機能検査は条件や患者協力の影響を受けるため、結果の解釈に必要な検査条件や問題点を客観的に残すことが重要である。

総合解説：この問題は「理念・目的・業務・職業倫理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0007

視能矯正の枠組み > 理念・目的・業務・職業倫理 | 難易度：基礎

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「医療技術やエビデンスは更新されるため、継続学習と自己能力の把握は専門職として重要である。」

ア．専門職として能力維持の必要性

イ．患者の尊厳を守る検査環境を整えられる

ウ．患者の自己決定を尊重した説明が

エ．患者安全を優先した業務判断が

0008

視能矯正の枠組み > 理念・目的・業務・職業倫理 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「聞こえ方や理解度を確認し、必要に応じ話す速度・表現・環境を調整する。患者の尊厳と自律性を守るには、感覚・認知・言語等の特性に合わせて情報提供方法を調整する必要がある。」

ア．専門職として能力維持の必要性

イ．患者の尊厳を守る検査環境を整えられる

ウ．守秘義務の継続性

エ．視能訓練士の法的業務範囲

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「専門職として能力維持の必要性」の要点を示している。医療技術やエビデンスは更新されるため、継続学習と自己能力の把握は専門職として重要である。
イ：「患者の尊厳を守る検査環境を整えられる」は別の論点である。主な要点は「患者の尊厳と自律性を守るには、感覚・認知・言語等の特性に合わせて情報提供方法を調整する必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「患者の自己決定を尊重した説明が」は別の論点である。主な要点は「患者の自律性を尊重するには、必要な情報を理解可能な形で説明し、疑問を解消した上で意思決定を支援することが重要である。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「患者安全を優先した業務判断が」は別の論点である。主な要点は「患者数や業務効率よりも患者安全を優先し、異常機器の使用を継続しないことが基本である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「理念・目的・業務・職業倫理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：イ

ア：「専門職として能力維持の必要性」は別の論点である。主な要点は「医療技術やエビデンスは更新されるため、継続学習と自己能力の把握は専門職として重要である。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「患者の尊厳を守る検査環境を整えられる」の要点を示している。聞こえ方や理解度を確認し、必要に応じ話す速度・表現・環境を調整する。患者の尊厳と自律性を守るには、感覚・認知・言語等の特性に合わせて情報提供方法を調整する必要がある。
ウ：「守秘義務の継続性」は別の論点である。主な要点は「視能訓練士の守秘義務は在職中だけに限定されない。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「視能訓練士の法的業務範囲」は別の論点である。主な要点は「視能訓練士法では、厚生労働大臣の免許を受け、医師の指示の下で両眼視機能回復のための矯正訓練等を行うことが定められている。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「理念・目的・業務・職業倫理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0009 視能矯正の枠組み > 理念・目的・業務・職業倫理 | 難易度：応用

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。

「利益相反そのものが直ちに不正を意味するわけではないが、研究判断へ影響する可能性があるため開示と管理が重要である。」

ア．視能訓練士の法的業務範囲
イ．守秘義務の継続性
ウ．視能矯正の目的を患者中心に説明
エ．利益相反が専門判断へ与える影響

答え・解説 正答：エ

ア：「視能訓練士の法的業務範囲」は別の論点である。主な要点は「視能訓練士法では、厚生労働大臣の免許を受け、医師の指示の下で両眼視機能回復のための矯正訓練等を行うことが定められている。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「守秘義務の継続性」は別の論点である。主な要点は「視能訓練士の守秘義務は在職中だけに限定されない。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「視能矯正の目的を患者中心に説明」は別の論点である。主な要点は「視能矯正は検査値のみを整えることが目的ではなく、視機能を評価し、必要な訓練・支援を通じて患者の生活機能を高めることを目指す。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「利益相反が専門判断へ与える影響」の要点を示している。利益相反そのものが直ちに不正を意味するわけではないが、研究判断へ影響する可能性があるため開示と管理が重要である。

総合解説：この問題は「理念・目的・業務・職業倫理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0010 視能矯正の枠組み > 理念・目的・業務・職業倫理 | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。

「患者数や業務効率よりも患者安全を優先し、異常機器の使用を継続しないことが基本である。」

ア．正確な診療記録の意義
イ．多職種連携の必要性
ウ．専門職として能力維持の必要性
エ．患者安全を優先した業務判断が

答え・解説 正答：エ

ア：「正確な診療記録の意義」は別の論点である。主な要点は「視機能検査は条件や患者協力の影響を受けるため、結果の解釈に必要な検査条件や問題点を客観的に残すことが重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「多職種連携の必要性」は別の論点である。主な要点は「視能訓練士法は医師その他の医療関係者との緊密な連携を求めている、患者の課題を多面的に捉えるためにも連携が重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「専門職として能力維持の必要性」は別の論点である。主な要点は「医療技術やエビデンスは更新されるため、継続学習と自己能力の把握は専門職として重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「患者安全を優先した業務判断が」の要点を示している。患者数や業務効率よりも患者安全を優先し、異常機器の使用を継続しないことが基本である。

総合解説：この問題は「理念・目的・業務・職業倫理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0011

視能矯正の枠組み > 研究倫理・EBM・医療統計 | 難易度：標準

「研究倫理・EBM・医療統計」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「EBMは研究論文だけに従う方法ではなく、最良の利用可能な根拠を臨床専門性と患者の価値観・希望に統合する考え方である。」

ア．欠測データが結果へ及ぼす影響
イ．PICOを用いて臨床疑問を構造化
ウ．95%信頼区間の幅を解釈
エ．EBMの構成要素

0012

視能矯正の枠組み > 研究倫理・EBM・医療統計 | 難易度：基礎

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「介入（Intervention）。PICOはPatient/Population、Intervention、Comparison、Outcomeで臨床疑問を構造化する。」

ア．PICOを用いて臨床疑問を構造化
イ．選択バイアスの概念
ウ．研究参加の自発性
エ．倫理審査の役割

答え・解説

正答：エ

ア：「欠測データが結果へ及ぼす影響」は別の論点である。主な要点は「追跡脱落が結果と関連している場合、欠測は無作為ではなく、介入効果を系統的に偏らせることがある。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「PICOを用いて臨床疑問を構造化」は別の論点である。主な要点は「PICOはPatient/Population、Intervention、Comparison、Outcomeで臨床疑問を構造化する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「95%信頼区間の幅を解釈」は別の論点である。主な要点は「信頼区間が狭いほど、標本から得られた効果推定の不確実性が小さく、精度が高いことを示す。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「EBMの構成要素」の要点を示している。EBMは研究論文だけに従う方法ではなく、最良の利用可能な根拠を臨床専門性と患者の価値観・希望に統合する考え方である。

総合解説：この問題は「研究倫理・EBM・医療統計」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「PICOを用いて臨床疑問を構造化」の要点を示している。介入（Intervention）。PICOはPatient/Population、Intervention、Comparison、Outcomeで臨床疑問を構造化する。
イ：「選択バイアスの概念」は別の論点である。主な要点は「選択バイアスは対象者の募集や選択、追跡などの過程で比較群に系統的差が生じ、効果推定が偏る現象を指す。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「研究参加の自発性」は別の論点である。主な要点は「研究倫理では研究対象者の尊厳と権利を守り、十分な説明に基づく自発的な参加意思を尊重する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「倫理審査の役割」は別の論点である。主な要点は「倫理審査は研究対象者の権利・安全を守りつつ、研究計画の妥当性を第三者的に検討するために行われる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「研究倫理・EBM・医療統計」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0013

視能矯正の枠組み > 研究倫理・EBM・医療統計 | 難易度：応用

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「ランダム化は介入群と対照群の背景因子の系統的差を減らし、介入効果をより公平に比較するために用いられる。」

ア．欠測データが結果へ及ぼす影響
イ．PICOを用いて臨床疑問を構造化
ウ．統計学的有意差と臨床的重要性
エ．ランダム化の目的

0014

視能矯正の枠組み > 研究倫理・EBM・医療統計 | 難易度：標準

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「評価者が割付を知ると主観的評価に偏りが生じる可能性があり、盲検化はそのリスクを減らす。」

ア．欠測データが結果へ及ぼす影響
イ．盲検化の目的
ウ．PICOを用いて臨床疑問を構造化
エ．95%信頼区間の幅を解釈

答え・解説

正答：エ

ア：「欠測データが結果へ及ぼす影響」は別の論点である。主な要点は「追跡脱落が結果と関連している場合、欠測は無作為ではなく、介入効果を系統的に偏らせることがある。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「PICOを用いて臨床疑問を構造化」は別の論点である。主な要点は「PICOはPatient/Population、Intervention、Comparison、Outcomeで臨床疑問を構造化する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「統計学的有意差と臨床的重要性」は別の論点である。主な要点は「p値は観察結果の統計的性質を示す一要素で、効果量の大きさや患者にとっての重要性を直接示すものではない。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「ランダム化の目的」の要点を示している。ランダム化は介入群と対照群の背景因子の系統的差を減らし、介入効果をより公平に比較するために用いられる。

総合解説：この問題は「研究倫理・EBM・医療統計」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：イ

ア：「欠測データが結果へ及ぼす影響」は別の論点である。主な要点は「追跡脱落が結果と関連している場合、欠測は無作為ではなく、介入効果を系統的に偏らせることがある。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「盲検化の目的」の要点を示している。評価者が割付を知ると主観的評価に偏りが生じる可能性があり、盲検化はそのリスクを減らす。
ウ：「PICOを用いて臨床疑問を構造化」は別の論点である。主な要点は「PICOはPatient/Population、Intervention、Comparison、Outcomeで臨床疑問を構造化する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「95%信頼区間の幅を解釈」は別の論点である。主な要点は「信頼区間が狭いほど、標本から得られた効果推定の不確実性が小さく、精度が高いことを示す。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「研究倫理・EBM・医療統計」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0015 視能矯正の枠組み > 研究倫理・EBM・医療統計 | 難易度：標準

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。
「信頼区間が狭いほど、標本から得られた効果推定の不確実性が小さく、精度が高いことを示す。」

ア．統計学的有意差と臨床的重要性

イ．欠測データが結果へ及ぼす影響

ウ．PICOを用いて臨床疑問を構造化

エ．95%信頼区間の幅を解釈

0016 視能矯正の枠組み > 研究倫理・EBM・医療統計 | 難易度：応用

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「統計学的有意差があっても、差の大きさが臨床的に重要かは別に検討する。p値は観察結果の統計的性質を示す一要素で、効果量の大きさや患者にとっての重要性を直接示すものではない。」

ア．95%信頼区間の幅を解釈

イ．欠測データが結果へ及ぼす影響

ウ．選択バイアスの概念

エ．統計学的有意差と臨床的重要性

答え・解説 正答：エ

ア：「統計学的有意差と臨床的重要性」は別の論点である。主な要点は「p値は観察結果の統計的性質を示す一要素で、効果量の大きさや患者にとっての重要性を直接示すものではない。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「欠測データが結果へ及ぼす影響」は別の論点である。主な要点は「追跡脱落が結果と関連している場合、欠測は無作為ではなく、介入効果を系統的に偏らせることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「PICOを用いて臨床疑問を構造化」は別の論点である。主な要点は「PICOはPatient/Population、Intervention、Comparison、Outcomeで臨床疑問を構造化する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「95%信頼区間の幅を解釈」の要点を示している。信頼区間が狭いほど、標本から得られた効果推定の不確実性が小さく、精度が高いことを示す。

総合解説：この問題は「研究倫理・EBM・医療統計」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：エ

ア：「95%信頼区間の幅を解釈」は別の論点である。主な要点は「信頼区間が狭いほど、標本から得られた効果推定の不確実性が小さく、精度が高いことを示す。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「欠測データが結果へ及ぼす影響」は別の論点である。主な要点は「追跡脱落が結果と関連している場合、欠測は無作為ではなく、介入効果を系統的に偏らせることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「選択バイアスの概念」は別の論点である。主な要点は「選択バイアスは対象者の募集や選択、追跡などの過程で比較群に系統的差が生じ、効果推定が偏る現象を指す。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「統計学的有意差と臨床的重要性」の要点を示している。統計学的有意差があっても、差の大きさが臨床的に重要かは別に検討する。p値は観察結果の統計的性質を示す一要素で、効果量の大きさや患者にとっての重要性を直接示すものではない。

総合解説：この問題は「研究倫理・EBM・医療統計」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0017

視能矯正の枠組み > 研究倫理・EBM・医療統計 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「選択バイアスは対象者の募集や選択、追跡などの過程で比較群に系統的差が生じ、効果推定が偏る現象を指す。」
ア．PICOを用いて臨床疑問を構造化
イ．選択バイアスの概念
ウ．統計学的有意差と臨床的重要性
エ．欠測データが結果へ及ぼす影響

0018

視能矯正の枠組み > 研究倫理・EBM・医療統計 | 難易度：基礎

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「研究倫理では研究対象者の尊厳と権利を守り、十分な説明に基づく自発的な参加意思を尊重する。」
ア．PICOを用いて臨床疑問を構造化
イ．欠測データが結果へ及ぼす影響
ウ．研究参加の自発性
エ．95%信頼区間の幅を解釈

答え・解説

正答：イ

ア：「PICOを用いて臨床疑問を構造化」は別の論点である。主な要点は「PICOはPatient/Population、Intervention、Comparison、Outcomeで臨床疑問を構造化する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「選択バイアスの概念」の要点を示している。選択バイアスは対象者の募集や選択、追跡などの過程で比較群に系統的差が生じ、効果推定が偏る現象を指す。
ウ：「統計学的有意差と臨床的重要性」は別の論点である。主な要点は「p値は観察結果の統計的性質を示す一要素で、効果量の大きさや患者にとっての重要性を直接示すものではない。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「欠測データが結果へ及ぼす影響」は別の論点である。主な要点は「追跡脱落が結果と関連している場合、欠測は無作為ではなく、介入効果を系統的に偏らせることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「研究倫理・EBM・医療統計」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ウ

ア：「PICOを用いて臨床疑問を構造化」は別の論点である。主な要点は「PICOはPatient/Population、Intervention、Comparison、Outcomeで臨床疑問を構造化する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「欠測データが結果へ及ぼす影響」は別の論点である。主な要点は「追跡脱落が結果と関連している場合、欠測は無作為ではなく、介入効果を系統的に偏らせることがある。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「研究参加の自発性」の要点を示している。研究倫理では研究対象者の尊厳と権利を守り、十分な説明に基づく自発的な参加意思を尊重する。
エ：「95%信頼区間の幅を解釈」は別の論点である。主な要点は「信頼区間が狭いほど、標本から得られた効果推定の不確実性が小さく、精度が高いことを示す。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「研究倫理・EBM・医療統計」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0019

視能矯正の枠組み > 研究倫理・EBM・医療統計 | 難易度：標準

「研究倫理・EBM・医療統計」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「倫理審査は研究対象者の権利・安全を守りつつ、研究計画の妥当性を第三者的に検討するために行われる。」

ア．PICOを用いて臨床疑問を構造化

イ．倫理審査の役割

ウ．欠測データが結果へ及ぼす影響

エ．統計学的有意差と臨床的重要性

0020

視能矯正の枠組み > 研究倫理・EBM・医療統計 | 難易度：基礎

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「欠測が介入結果を実際より良く見せるバイアスにつながる可能性。追跡脱落が結果と関連している場合、欠測は無作為ではなく、介入効果を系統的に偏らせることがある。」

ア．統計学的有意差と臨床的重要性

イ．欠測データが結果へ及ぼす影響

ウ．倫理審査の役割

エ．EBMの構成要素

答え・解説

正答：イ

ア：「PICOを用いて臨床疑問を構造化」は別の論点である。主な要点は「PICOはPatient/Population、Intervention、Comparison、Outcomeで臨床疑問を構造化する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「倫理審査の役割」の要点を示している。倫理審査は研究対象者の権利・安全を守りつつ、研究計画の妥当性を第三者的に検討するために行われる。

ウ：「欠測データが結果へ及ぼす影響」は別の論点である。主な要点は「追跡脱落が結果と関連している場合、欠測は無作為ではなく、介入効果を系統的に偏らせることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「統計学的有意差と臨床的重要性」は別の論点である。主な要点は「p値は観察結果の統計的性質を示す一要素で、効果量の大きさや患者にとっての重要性を直接示すものではない。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「研究倫理・EBM・医療統計」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：イ

ア：「統計学的有意差と臨床的重要性」は別の論点である。主な要点は「p値は観察結果の統計的性質を示す一要素で、効果量の大きさや患者にとっての重要性を直接示すものではない。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「欠測データが結果へ及ぼす影響」の要点を示している。欠測が介入結果を実際より良く見せるバイアスにつながる可能性。追跡脱落が結果と関連している場合、欠測は無作為ではなく、介入効果を系統的に偏らせることがある。

ウ：「倫理審査の役割」は別の論点である。主な要点は「倫理審査は研究対象者の権利・安全を守りつつ、研究計画の妥当性を第三者的に検討するために行われる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「EBMの構成要素」は別の論点である。主な要点は「EBMは研究論文だけに従う方法ではなく、最良の利用可能な根拠を臨床専門性と患者の価値観・希望に統合する考え方である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「研究倫理・EBM・医療統計」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0021

視能矯正の枠組み > 教育・資質・視能障害の捉え方 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「ICFでは生活機能を心身機能・身体構造、活動、参加の相互関係として捉える。」

ア．年齢・発達段階に応じた検査説明を工夫
イ．患者教育で理解度確認
ウ．参加制約
エ．ICFの生活機能

答え・解説

正答：エ

ア：「年齢・発達段階に応じた検査説明を工夫」は別の論点である。主な要点は「幼児では注意持続や言語理解が成人と異なるため、発達段階に合わせた説明と検査方法の工夫が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「患者教育で理解度確認」は別の論点である。主な要点は「説明後に患者・家族が自分の言葉で内容を説明するteach-backは、理解度を確認し誤解を修正するのに有用である。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「参加制約」は別の論点である。主な要点は「会議や就労など社会生活への関与が難しくなることは参加レベルの問題として捉えられる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「ICFの生活機能」の要点を示している。ICFでは生活機能を心身機能・身体構造、活動、参加の相互関係として捉える。

総合解説：この問題は「教育・資質・視能障害の捉え方」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0022

視能矯正の枠組み > 教育・資質・視能障害の捉え方 | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「表示サイズや照明、コントラストなどは外的環境であり、活動・参加を促進する環境因子として扱える。」

ア．環境因子の影響
イ．活動制限と機能障害
ウ．参加制約
エ．患者教育で理解度確認

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「環境因子の影響」の要点を示している。表示サイズや照明、コントラストなどは外的環境であり、活動・参加を促進する環境因子として扱える。
イ：「活動制限と機能障害」は別の論点である。主な要点は「視力低下そのものは心身機能の障害で、新聞を読むことが難しいのは活動レベルの問題として捉えられる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「参加制約」は別の論点である。主な要点は「会議や就労など社会生活への関与が難しくなることは参加レベルの問題として捉えられる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「患者教育で理解度確認」は別の論点である。主な要点は「説明後に患者・家族が自分の言葉で内容を説明するteach-backは、理解度を確認し誤解を修正するのに有用である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「教育・資質・視能障害の捉え方」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0023

視能矯正の枠組み > 教育・資質・視能障害の捉え方 | 難易度：標準

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。
「視力低下そのものは心身機能の障害で、新聞を読むことが難しいのは活動レベルの問題として捉えられる。」

ア．環境因子の影響

イ．年齢・発達段階に応じた検査説明を工夫

ウ．活動制限と機能障害

エ．患者教育で理解度確認

0024

視能矯正の枠組み > 教育・資質・視能障害の捉え方 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「参加の制約。会議や就労など社会生活への関与が難しくなることは参加レベルの問題として捉えられる。」

ア．参加制約

イ．環境因子の影響

ウ．家族支援と本人の自律性を両立

エ．専門職の自己評価とフィードバック

答え・解説

正答：ウ

ア：「環境因子の影響」は別の論点である。主な要点は「表示サイズや照明、コントラストなどは外的環境であり、活動・参加を促進する環境因子として扱える。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「年齢・発達段階に応じた検査説明を工夫」は別の論点である。主な要点は「幼児では注意持続や言語理解が成人と異なるため、発達段階に合わせた説明と検査方法の工夫が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「活動制限と機能障害」の要点を示している。視力低下そのものは心身機能の障害で、新聞を読むことが難しいのは活動レベルの問題として捉えられる。
エ：「患者教育で理解度確認」は別の論点である。主な要点は「説明後に患者・家族が自分の言葉で内容を説明するteach-backは、理解度を確認し誤解を修正するのに有用である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「教育・資質・視能障害の捉え方」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「参加制約」の要点を示している。参加の制約。会議や就労など社会生活への関与が難しくなることは参加レベルの問題として捉えられる。
イ：「環境因子の影響」は別の論点である。主な要点は「表示サイズや照明、コントラストなどは外的環境であり、活動・参加を促進する環境因子として扱える。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「家族支援と本人の自律性を両立」は別の論点である。主な要点は「小児医療では保護者の関与が重要だが、本人の発達段階に応じた説明と意思・感情の尊重も必要である。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「専門職の自己評価とフィードバック」は別の論点である。主な要点は「技能教育では知識だけでなく、実技の観察・反復・具体的なフィードバック・自己評価を組み合わせることが重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「教育・資質・視能障害の捉え方」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0025 視能矯正の枠組み > 教育・資質・視能障害の捉え方 | 難易度：基礎

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「説明後に患者・家族が自分の言葉で内容を説明するteach-backは、理解度を確認し誤解を修正するのに有用である。」

- ア．環境因子の影響
- イ．ICFの生活機能
- ウ．活動制限と機能障害
- エ．患者教育で理解度確認

答え・解説 正答：エ

ア：「環境因子の影響」は別の論点である。主な要点は「表示サイズや照明、コントラストなどは外的環境であり、活動・参加を促進する環境因子として捉える。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「ICFの生活機能」は別の論点である。主な要点は「ICFでは生活機能を心身機能・身体構造、活動、参加の相互関係として捉える。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「活動制限と機能障害」は別の論点である。主な要点は「視力低下そのものは心身機能の障害で、新聞を読むことが難しいのは活動レベルの問題として捉えられる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「患者教育で理解度確認」の要点を示している。説明後に患者・家族が自分の言葉で内容を説明するteach-backは、理解度を確認し誤解を修正するのに有用である。

総合解説：この問題は「教育・資質・視能障害の捉え方」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0026 視能矯正の枠組み > 教育・資質・視能障害の捉え方 | 難易度：応用

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「幼児では注意持続や言語理解が成人と異なるため、発達段階に合わせた説明と検査方法の工夫が必要である。」

- ア．環境因子の影響
- イ．ICFの生活機能
- ウ．年齢・発達段階に応じた検査説明を工夫
- エ．活動制限と機能障害

答え・解説 正答：ウ

ア：「環境因子の影響」は別の論点である。主な要点は「表示サイズや照明、コントラストなどは外的環境であり、活動・参加を促進する環境因子として捉える。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「ICFの生活機能」は別の論点である。主な要点は「ICFでは生活機能を心身機能・身体構造、活動、参加の相互関係として捉える。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「年齢・発達段階に応じた検査説明を工夫」の要点を示している。幼児では注意持続や言語理解が成人と異なるため、発達段階に合わせた説明と検査方法の工夫が必要である。
エ：「活動制限と機能障害」は別の論点である。主な要点は「視力低下そのものは心身機能の障害で、新聞を読むことが難しいのは活動レベルの問題として捉えられる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「教育・資質・視能障害の捉え方」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0027 視能矯正の枠組み > 教育・資質・視能障害の捉え方 | 難易度：基礎

「教育・資質・視能障害の捉え方」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「患者中心の目標設定では、検査値だけでなく本人が困っている活動や参加場面を明確にし、現実的な支援目標へ落とし込む。」

- ア．活動制限と機能障害
- イ．参加制約
- ウ．患者中心の目標設定が
- エ．年齢・発達段階に応じた検査説明を工夫

答え・解説 正答：ウ

ア：「活動制限と機能障害」は別の論点である。主な要点は「視力低下そのものは心身機能の障害で、新聞を読むことが難しいのは活動レベルの問題として捉えられる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「参加制約」は別の論点である。主な要点は「会議や就労など社会生活への関与が難しくなることは参加レベルの問題として捉えられる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「患者中心の目標設定が」の要点を示している。患者中心の目標設定では、検査値だけでなく本人が困っている活動や参加場面を明確にし、現実的な支援目標へ落とし込む。
エ：「年齢・発達段階に応じた検査説明を工夫」は別の論点である。主な要点は「幼児では注意持続や言語理解が成人と異なるため、発達段階に合わせた説明と検査方法の工夫が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「教育・資質・視能障害の捉え方」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0028 視能矯正の枠組み > 教育・資質・視能障害の捉え方 | 難易度：応用

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「標準手順を学び、指導者の観察とフィードバックを受け、達成度を確認しながら反復する。技能教育では知識だけでなく、実技の観察・反復・具体的なフィードバック・自己評価を組み合わせることが重要である。」

- ア．参加制約
- イ．患者教育で理解度確認
- ウ．視能障害を疾患名だけで捉えない理由
- エ．専門職の自己評価とフィードバック

答え・解説 正答：エ

ア：「参加制約」は別の論点である。主な要点は「会議や就労など社会生活への関与が難しくなることは参加レベルの問題として捉えられる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「患者教育で理解度確認」は別の論点である。主な要点は「説明後に患者・家族が自分の言葉で内容を説明するteach-backは、理解度を確認し誤解を修正するのに有用である。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「視能障害を疾患名だけで捉えない理由」は別の論点である。主な要点は「ICFでは健康状態だけでなく、活動・参加と環境因子等の相互作用で生活機能を捉えるため、同じ測定値でも困難の程度は異なり得る。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「専門職の自己評価とフィードバック」の要点を示している。標準手順を学び、指導者の観察とフィードバックを受け、達成度を確認しながら反復する。技能教育では知識だけでなく、実技の観察・反復・具体的なフィードバック・自己評価を組み合わせることが重要である。

総合解説：この問題は「教育・資質・視能障害の捉え方」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0029

視能矯正の枠組み > 教育・資質・視能障害の捉え方 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。

「ICFでは健康状態だけでなく、活動・参加と環境因子等の相互作用で生活機能を捉えるため、同じ測定値でも困難の程度は異なり得る。」

ア．視能障害を疾患名だけで捉えない理由

イ．参加制約

ウ．環境因子の影響

エ．専門職の自己評価とフィードバック

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「視能障害を疾患名だけで捉えない理由」の要点を示している。ICFでは健康状態だけでなく、活動・参加と環境因子等の相互作用で生活機能を捉えるため、同じ測定値でも困難の程度は異なり得る。

イ：「参加制約」は別の論点である。主な要点は「会議や就労など社会生活への関与が難しくなることは参加レベルの問題として捉えられる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「環境因子の影響」は別の論点である。主な要点は「表示サイズや照明、コントラストなどは外的環境であり、活動・参加を促進する環境因子として捉える。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「専門職の自己評価とフィードバック」は別の論点である。主な要点は「技能教育では知識だけでなく、実技の観察・反復・具体的なフィードバック・自己評価を組み合わせることが重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「教育・資質・視能障害の捉え方」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0030

視能矯正の枠組み > 教育・資質・視能障害の捉え方 | 難易度：標準

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。

「小児医療では保護者の関与が重要だが、本人の発達段階に応じた説明と意思・感情の尊重も必要である。」

ア．家族支援と本人の自律性を両立

イ．参加制約

ウ．患者教育で理解度確認

エ．ICFの生活機能

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「家族支援と本人の自律性を両立」の要点を示している。小児医療では保護者の関与が重要だが、本人の発達段階に応じた説明と意思・感情の尊重も必要である。

イ：「参加制約」は別の論点である。主な要点は「会議や就労など社会生活への関与が難しくなることは参加レベルの問題として捉えられる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「患者教育で理解度確認」は別の論点である。主な要点は「説明後に患者・家族が自分の言葉で内容を説明するteach-backは、理解度を確認し誤解を修正するのに有用である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「ICFの生活機能」は別の論点である。主な要点は「ICFでは生活機能を心身機能・身体構造、活動、参加の相互関係として捉える。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「教育・資質・視能障害の捉え方」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0031 両眼視・眼位 > 両眼視の成立・網膜対応 | 難易度：応用

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「両眼単一視には両眼の視線が適切に協調し、左右眼の像が中枢で融合されることが必要である。」

ア．対応点と非対応点

イ．正常網膜対応

ウ．両眼単一視の成立条件

エ．異常網膜対応の意義

0032 両眼視・眼位 > 両眼視の成立・網膜対応 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「同一の主観的視方向をもつ対応点として扱われる。正常網膜対応では左右の中心窩は対応点であり、同じ視方向を与える。」

ア．正常網膜対応

イ．左右眼像の類似性が融合に与える影響

ウ．両眼視野重複の意義

エ．Panum融像域の意味

答え・解説 正答：ウ

ア：「対応点と非対応点」は別の論点である。主な要点は「非対応点への刺激は両眼視差を生み、Panum融像域内なら融合・立体視に利用され、域外では複視となり得る。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「正常網膜対応」は別の論点である。主な要点は「正常網膜対応では左右の中心窩は対応点であり、同じ視方向を与える。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「両眼単一視の成立条件」の要点を示している。両眼単一視には両眼の視線が適切に協調し、左右眼の像が中枢で融合されることが必要である。

エ：「異常網膜対応の意義」は別の論点である。主な要点は「異常網膜対応は、恒常的な眼位ずれに対して両眼単一視を保とうとする感覚適応として生じ得る。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「両眼視の成立・網膜対応」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「正常網膜対応」の要点を示している。同一の主観的視方向をもつ対応点として扱われる。正常網膜対応では左右の中心窩は対応点であり、同じ視方向を与える。

イ：「左右眼像の類似性が融合に与える影響」は別の論点である。主な要点は「左右眼像が大きく異なると一つの安定した知覚へ統合しにくく、抑制やbinocular rivalryが生じることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「両眼視野重複の意義」は別の論点である。主な要点は「左右眼の位置が異なるため同一物体の像に小さな差が生じ、その差が立体視の手掛かりとなる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「Panum融像域の意味」は別の論点である。主な要点は「Panum融像域では小さな両眼視差があっても単一視が維持され、その視差は立体視にも利用される。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「両眼視の成立・網膜対応」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0033

両眼視・眼位 > 両眼視の成立・網膜対応 | 難易度：基礎

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「非対応点への刺激は両眼視差を生み、Panum融像域内なら融合・立体視に利用され、域外では複視となり得る。」

ア．両眼単一視の成立条件

イ．網膜視差の方向

ウ．ホロプター概念

エ．対応点と非対応点

0034

両眼視・眼位 > 両眼視の成立・網膜対応 | 難易度：基礎

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「Panum融像域では小さな両眼視差があっても単一視が維持され、その視差は立体視にも利用される。」

ア．対応点と非対応点

イ．正常網膜対応

ウ．Panum融像域の意味

エ．網膜視差と奥行き知覚

答え・解説

正答：エ

ア：「両眼単一視の成立条件」は別の論点である。主な要点は「両眼単一視には両眼の視線が適切に協調し、左右眼の像が中枢で融合されることが必要である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「網膜視差の方向」は別の論点である。主な要点は「注視点より近い物体は左右眼で交差性視差を生じ、近方の奥行き手掛かりとして利用される。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「ホロプター概念」は別の論点である。主な要点は「ホロプターは両眼の対応点を刺激する空間上の点の集合として説明される。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「対応点と非対応点」の要点を示している。非対応点への刺激は両眼視差を生み、Panum融像域内なら融合・立体視に利用され、域外では複視となり得る。

総合解説：この問題は「両眼視の成立・網膜対応」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ウ

ア：「対応点と非対応点」は別の論点である。主な要点は「非対応点への刺激は両眼視差を生み、Panum融像域内なら融合・立体視に利用され、域外では複視となり得る。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「正常網膜対応」は別の論点である。主な要点は「正常網膜対応では左右の中心窩は対応点であり、同じ視方向を与える。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「Panum融像域の意味」の要点を示している。Panum融像域では小さな両眼視差があっても単一視が維持され、その視差は立体視にも利用される。

エ：「網膜視差と奥行き知覚」は別の論点である。主な要点は「左右眼の位置差により同じ物体像がわずかに異なる位置へ投影され、その差から奥行きを知覚する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「両眼視の成立・網膜対応」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0035

両眼視・眼位 > 両眼視の成立・網膜対応 | 難易度：標準

「両眼視の成立・網膜対応」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「ホロプターは両眼の対応点を刺激する空間上の点の集合として説明される。」

ア．網膜視差と奥行き知覚

イ．ホロプターの概念

ウ．対応点と非対応点

エ．正常網膜対応

0036

両眼視・眼位 > 両眼視の成立・網膜対応 | 難易度：標準

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「両眼視差を利用した精密な奥行き知覚が可能になる。左右眼の位置が異なるため同一物体の像に小さな差が生じ、その差が立体視の手掛かりとなる。」

ア．正常網膜対応

イ．対応点と非対応点

ウ．両眼視野重複の意義

エ．網膜視差と奥行き知覚

答え・解説

正答：イ

ア：「網膜視差と奥行き知覚」は別の論点である。主な要点は「左右眼の位置差により同じ物体像がわずかに異なる位置へ投影され、その差から奥行きを知覚する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「ホロプターの概念」の要点を示している。ホロプターは両眼の対応点を刺激する空間上の点の集合として説明される。

ウ：「対応点と非対応点」は別の論点である。主な要点は「非対応点への刺激は両眼視差を生み、Panum融像域内なら融合・立体視に利用され、域外では複視となり得る。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「正常網膜対応」は別の論点である。主な要点は「正常網膜対応では左右の中心窩は対応点であり、同じ視方向を与える。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「両眼視の成立・網膜対応」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ウ

ア：「正常網膜対応」は別の論点である。主な要点は「正常網膜対応では左右の中心窩は対応点であり、同じ視方向を与える。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「対応点と非対応点」は別の論点である。主な要点は「非対応点への刺激は両眼視差を生み、Panum融像域内なら融合・立体視に利用され、域外では複視となり得る。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「両眼視野重複の意義」の要点を示している。両眼視差を利用した精密な奥行き知覚が可能になる。左右眼の位置が異なるため同一物体の像に小さな差が生じ、その差が立体視の手掛かりとなる。

エ：「網膜視差と奥行き知覚」は別の論点である。主な要点は「左右眼の位置差により同じ物体像がわずかに異なる位置へ投影され、その差から奥行きを知覚する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「両眼視の成立・網膜対応」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0037 両眼視・眼位 > 両眼視の成立・網膜対応 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「左右眼像が大きく異なると一つの安定した知覚へ統合しにくく、抑制やbinocular rivalryが生じることがある。」

ア．正常網膜対応

イ．網膜視差と奥行き知覚

ウ．左右眼像の類似性が融合に与える影響

エ．対応点と非対応点

答え・解説 正答：ウ

ア：「正常網膜対応」は別の論点である。主な要点は「正常網膜対応では左右の中心窩は対応点であり、同じ視方向を与える。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「網膜視差と奥行き知覚」は別の論点である。主な要点は「左右眼の位置差により同じ物体像がわずかに異なる位置へ投影され、その差から奥行きを知覚する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「左右眼像の類似性が融合に与える影響」の要点を示している。左右眼像が大きく異なると一つの安定した知覚へ統合しにくく、抑制やbinocular rivalryが生じることがある。

エ：「対応点と非対応点」は別の論点である。主な要点は「非対応点への刺激は両眼視差を生み、Panum融像域内なら融合・立体視に利用され、域外では複視となり得る。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「両眼視の成立・網膜対応」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0038 両眼視・眼位 > 両眼視の成立・網膜対応 | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「異常網膜対応は、恒常的な眼位ずれに対して両眼単一視を保とうとする感覚適応として生じ得る。」

ア．異常網膜対応の意義

イ．左右眼像の類似性が融合に与える影響

ウ．両眼単一視の成立条件

エ．ホロプター概念

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「異常網膜対応の意義」の要点を示している。異常網膜対応は、恒常的な眼位ずれに対して両眼単一視を保とうとする感覚適応として生じ得る。

イ：「左右眼像の類似性が融合に与える影響」は別の論点である。主な要点は「左右眼像が大きく異なると一つの安定した知覚へ統合しにくく、抑制やbinocular rivalryが生じることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「両眼単一視の成立条件」は別の論点である。主な要点は「両眼単一視には両眼の視線が適切に協調し、左右眼の像が中枢で融合されることが必要である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「ホロプター概念」は別の論点である。主な要点は「ホロプターは両眼の対応点を刺激する空間上の点の集合として説明される。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「両眼視の成立・網膜対応」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0039 両眼視・眼位 > 両眼視の成立・網膜対応 | 難易度：標準

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。
「感覚系が異常な眼位に適應することで、両眼像を一定の関係で知覚しやすくなる。」

ア．Panum融像域の意味

イ．左右眼像の類似性が融合に与える影響

ウ．ホロプター概念

エ．異常網膜対応と複視の関係

0040 両眼視・眼位 > 両眼視の成立・網膜対応 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「注視点より近い物体は左右眼で交差性視差を生じ、近方の奥行き手掛かりとして利用される。」

ア．対応点と非対応点

イ．左右眼像の類似性が融合に与える影響

ウ．Panum融像域の意味

エ．網膜視差の方向

答え・解説 正答：エ

ア：「Panum融像域の意味」は別の論点である。主要点は「Panum融像域では小さな両眼視差があっても単一視が維持され、その視差は立体視にも利用される。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「左右眼像の類似性が融合に与える影響」は別の論点である。主要点は「左右眼像が大きく異なると一つの安定した知覚へ統合しにくく、抑制やbinocular rivalryが生じることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「ホロプター概念」は別の論点である。主要点は「ホロプターは両眼の対応点を刺激する空間上の点の集合として説明される。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「異常網膜対応と複視の関係」の要点を示している。感覚系が異常な眼位に適應することで、両眼像を一定の関係で知覚しやすくなる。

総合解説：この問題は「両眼視の成立・網膜対応」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：エ

ア：「対応点と非対応点」は別の論点である。主要点は「非対応点への刺激は両眼視差を生み、Panum融像域内なら融合・立体視に利用され、域外では複視となり得る。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「左右眼像の類似性が融合に与える影響」は別の論点である。主要点は「左右眼像が大きく異なると一つの安定した知覚へ統合しにくく、抑制やbinocular rivalryが生じることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「Panum融像域の意味」は別の論点である。主要点は「Panum融像域では小さな両眼視差があっても単一視が維持され、その視差は立体視にも利用される。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「網膜視差の方向」の要点を示している。注視点より近い物体は左右眼で交差性視差を生じ、近方の奥行き手掛かりとして利用される。

総合解説：この問題は「両眼視の成立・網膜対応」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0041

両眼視・眼位 > 両眼視の成立・網膜対応 | 難易度：基礎

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。

「左右眼の位置差により同じ物体像がわずかに異なる位置へ投影され、その差から奥行きを知覚する。」

ア．ホロプター概念
イ．網膜視差と奥行き知覚
ウ．左右眼像の類似性が融合に与える影響
エ．Panum融像域の意味

0042

両眼視・眼位 > 両眼視の成立・網膜対応 | 難易度：応用

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。

「両眼視機能は発達期の適切な両眼入力を必要とし、恒常的眼位ずれは融合・立体視発達を妨げ得る。」

ア．両眼視発達と早期眼位異常の関係
イ．ホロプター概念
ウ．正常網膜対応
エ．Panum融像域の意味

答え・解説

正答：イ

ア：「ホロプター概念」は別の論点である。主な要点は「ホロプターは両眼の対応点を刺激する空間上の点の集合として説明される。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「網膜視差と奥行き知覚」の要点を示している。左右眼の位置差により同じ物体像がわずかに異なる位置へ投影され、その差から奥行きを知覚する。

ウ：「左右眼像の類似性が融合に与える影響」は別の論点である。主な要点は「左右眼像が大きく異なると一つの安定した知覚へ統合しにくく、抑制やbinocular rivalryが生じることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「Panum融像域の意味」は別の論点である。主な要点は「Panum融像域では小さな両眼視差があっても単一視が維持され、その視差は立体視にも利用される。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「両眼視の成立・網膜対応」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「両眼視発達と早期眼位異常の関係」の要点を示している。両眼視機能は発達期の適切な両眼入力を必要とし、恒常的眼位ずれは融合・立体視発達を妨げ得る。

イ：「ホロプター概念」は別の論点である。主な要点は「ホロプターは両眼の対応点を刺激する空間上の点の集合として説明される。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「正常網膜対応」は別の論点である。主な要点は「正常網膜対応では左右の中心窩は対応点であり、同じ視方向を与える。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「Panum融像域の意味」は別の論点である。主な要点は「Panum融像域では小さな両眼視差があっても単一視が維持され、その視差は立体視にも利用される。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「両眼視の成立・網膜対応」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0043 両眼視・眼位 > 融像・立体視・抑制 | 難易度：応用

「融像・立体視・抑制」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「感覚融像は両眼から得られた視覚情報を一つの像として知覚する中枢過程である。」

ア．生理的複視
イ．両眼視野闘争
ウ．ステレオ視力の単位を理解
エ．感覚融像

答え・解説 正答：エ

ア：「生理的複視」は別の論点である。主な要点は「注視点以外の物体は対応点から外れて投影され、Panum融像域を超える視差では正常者でも複視として知覚され得る。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「両眼視野闘争」は別の論点である。主な要点は「両眼へ統合しにくい異なる像が入ると、左右眼の知覚が交互に優勢となる両眼視野闘争が生じることがある。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「ステレオ視力の単位を理解」は別の論点である。主な要点は「ステレオ視力は通常、検出できる最小の両眼視差を角度で表し、秒角が小さいほど細かな奥行き差を識別できる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「感覚融像」の要点を示している。感覚融像は両眼から得られた視覚情報を一つの像として知覚する中枢過程である。

総合解説：この問題は「融像・立体視・抑制」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0044 両眼視・眼位 > 融像・立体視・抑制 | 難易度：応用

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「両眼像のずれを減らすように輻湊・開散を調整すること。運動性融像は網膜視差を手掛かりに眼位を調整し、感覚融像可能な範囲へ像を保つ。」

ア．生理的複視
イ．両眼視野闘争
ウ．運動性融像
エ．ステレオ視力の単位を理解

答え・解説 正答：ウ

ア：「生理的複視」は別の論点である。主な要点は「注視点以外の物体は対応点から外れて投影され、Panum融像域を超える視差では正常者でも複視として知覚され得る。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「両眼視野闘争」は別の論点である。主な要点は「両眼へ統合しにくい異なる像が入ると、左右眼の知覚が交互に優勢となる両眼視野闘争が生じることがある。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「運動性融像」の要点を示している。両眼像のずれを減らすように輻湊・開散を調整すること。運動性融像は網膜視差を手掛かりに眼位を調整し、感覚融像可能な範囲へ像を保つ。
エ：「ステレオ視力の単位を理解」は別の論点である。主な要点は「ステレオ視力は通常、検出できる最小の両眼視差を角度で表し、秒角が小さいほど細かな奥行き差を識別できる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「融像・立体視・抑制」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0045 両眼視・眼位 > 融像・立体視・抑制 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「立体視は左右眼の小さな網膜視差を中枢が奥行き情報として利用することで成立する。」

ア．感覚融像
イ．運動性融像
ウ．立体視の成立条件
エ．中心抑制と周辺抑制の考え方

0046 両眼視・眼位 > 融像・立体視・抑制 | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「ステレオ視力は通常、検出できる最小の両眼視差を角度で表し、秒角が小さいほど細かな奥行き差を識別できる。」

ア．ステレオ視力の単位を理解
イ．感覚融像
ウ．運動性融像
エ．中心抑制と周辺抑制の考え方

答え・解説 正答：ウ

ア：「感覚融像」は別の論点である。主な要点は「感覚融像は両眼から得られた視覚情報を一つの像として知覚する中枢過程である。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「運動性融像」は別の論点である。主な要点は「運動性融像は網膜視差を手掛かりに眼位を調整し、感覚融像可能な範囲へ像を保つ。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「立体視の成立条件」の要点を示している。立体視は左右眼の小さな網膜視差を中枢が奥行き情報として利用することで成立する。
エ：「中心抑制と周辺抑制の考え方」は別の論点である。主な要点は「斜視では複視や混乱を避けるために、斜視眼中心窩付近や対応する領域で抑制が形成されることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「融像・立体視・抑制」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「ステレオ視力の単位を理解」の要点を示している。ステレオ視力は通常、検出できる最小の両眼視差を角度で表し、秒角が小さいほど細かな奥行き差を識別できる。
イ：「感覚融像」は別の論点である。主な要点は「感覚融像は両眼から得られた視覚情報を一つの像として知覚する中枢過程である。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「運動性融像」は別の論点である。主な要点は「運動性融像は網膜視差を手掛かりに眼位を調整し、感覚融像可能な範囲へ像を保つ。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「中心抑制と周辺抑制の考え方」は別の論点である。主な要点は「斜視では複視や混乱を避けるために、斜視眼中心窩付近や対応する領域で抑制が形成されることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「融像・立体視・抑制」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0047 両眼視・眼位 > 融像・立体視・抑制 | 難易度：基礎

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。
「小児などでは斜視による像の不一致に適応して、一方眼の像を抑制し単一の知覚を保とうとすることがある。」

ア．両眼視野闘争

イ．運動性融像

ウ．抑制の機能的意義

エ．感覚融像

0048 両眼視・眼位 > 融像・立体視・抑制 | 難易度：基礎

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「両眼同時視時に特定の網膜領域の視覚入力が選択的に抑えられることがある。斜視では複視や混乱を避けるために、斜視眼中心窩付近や対応する領域で抑制が形成されることがある。」

ア．生理的複視

イ．中心抑制と周辺抑制の考え方

ウ．両眼視野闘争

エ．感覚融像

答え・解説 正答：ウ

ア：「両眼視野闘争」は別の論点である。主な要点は「両眼へ統合しにくい異なる像が入ると、左右眼の知覚が交互に優勢となる両眼視野闘争が生じることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「運動性融像」は別の論点である。主な要点は「運動性融像は網膜視差を手掛かりに眼位を調整し、感覚融像可能な範囲へ像を保つ。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「抑制の機能的意義」の要点を示している。小児などでは斜視による像の不一致に適応して、一方眼の像を抑制し単一の知覚を保とうとすることがある。

エ：「感覚融像」は別の論点である。主な要点は「感覚融像は両眼から得られた視覚情報を一つの像として知覚する中枢過程である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「融像・立体視・抑制」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：イ

ア：「生理的複視」は別の論点である。主な要点は「注視点以外の物体は対応点から外れて投影され、Panum融像域を超える視差では正常者でも複視として知覚され得る。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「中心抑制と周辺抑制の考え方」の要点を示している。両眼同時視時に特定の網膜領域の視覚入力を選択的に抑えられることがある。斜視では複視や混乱を避けるために、斜視眼中心窩付近や対応する領域で抑制が形成されることがある。

ウ：「両眼視野闘争」は別の論点である。主な要点は「両眼へ統合しにくい異なる像が入ると、左右眼の知覚が交互に優勢となる両眼視野闘争が生じることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「感覚融像」は別の論点である。主な要点は「感覚融像は両眼から得られた視覚情報を一つの像として知覚する中枢過程である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「融像・立体視・抑制」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0049 両眼視・眼位 > 融像・立体視・抑制 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「両眼へ統合しにくい異なる像が入ると、左右眼の知覚が交互に優勢となる両眼視野闘争が生じることがある。」

ア．感覚融像

イ．両眼視野闘争

ウ．運動性融像

エ．中心抑制と周辺抑制の考え方

0050 両眼視・眼位 > 融像・立体視・抑制 | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「注視点以外の物体は対応点から外れて投影され、Panum融像域を超える視差では正常者でも複視として知覚され得る。」

ア．感覚融像

イ．運動性融像

ウ．生理的複視

エ．中心抑制と周辺抑制の考え方

答え・解説 正答：イ

ア：「感覚融像」は別の論点である。主な要点は「感覚融像は両眼から得られた視覚情報を一つの像として知覚する中枢過程である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「両眼視野闘争」の要点を示している。両眼へ統合しにくい異なる像が入ると、左右眼の知覚が交互に優勢となる両眼視野闘争が生じることがある。

ウ：「運動性融像」は別の論点である。主な要点は「運動性融像は網膜視差を手掛かりに眼位を調整し、感覚融像可能な範囲へ像を保つ。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「中心抑制と周辺抑制の考え方」は別の論点である。主な要点は「斜視では複視や混乱を避けるために、斜視眼中心窩付近や対応する領域で抑制が形成されることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「融像・立体視・抑制」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：ウ

ア：「感覚融像」は別の論点である。主な要点は「感覚融像は両眼から得られた視覚情報を一つの像として知覚する中枢過程である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「運動性融像」は別の論点である。主な要点は「運動性融像は網膜視差を手掛かりに眼位を調整し、感覚融像可能な範囲へ像を保つ。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「生理的複視」の要点を示している。注視点以外の物体は対応点から外れて投影され、Panum融像域を超える視差では正常者でも複視として知覚され得る。

エ：「中心抑制と周辺抑制の考え方」は別の論点である。主な要点は「斜視では複視や混乱を避けるために、斜視眼中心窩付近や対応する領域で抑制が形成されることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「融像・立体視・抑制」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0051 両眼視・眼位 > 融像・立体視・抑制 | 難易度：標準

「融像・立体視・抑制」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「融像性vergenceの予備力が十分であれば、一定の斜位があっても両眼単一視を保ちやすい。」

ア．融像予備力の意味
イ．生理的複視
ウ．両眼視野闘争
エ．中心抑制と周辺抑制の考え方

0052 両眼視・眼位 > 融像・立体視・抑制 | 難易度：標準

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「抑制眼の視覚発達が妨げられ、弱視につながる可能性がある。視覚発達期に片眼入力が持続的に抑えられると、その眼の視覚皮質発達が不十分となり弱視を形成し得る。」

ア．抑制と弱視の関係
イ．感覚融像
ウ．運動性融像
エ．融像予備力の意味

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「融像予備力の意味」の要点を示している。融像性vergenceの予備力が十分であれば、一定の斜位があっても両眼単一視を保ちやすい。
イ：「生理的複視」は別の論点である。主な要点は「注視点以外の物体は対応点から外れて投影され、Panum融像域を超える視差では正常者でも複視として知覚され得る。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「両眼視野闘争」は別の論点である。主な要点は「両眼へ統合しにくい異なる像が入ると、左右眼の知覚が交互に優勢となる両眼視野闘争が生じることがある。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「中心抑制と周辺抑制の考え方」は別の論点である。主な要点は「斜視では複視や混乱を避けるために、斜視眼中心窩付近や対応する領域で抑制が形成されることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「融像・立体視・抑制」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「抑制と弱視の関係」の要点を示している。抑制眼の視覚発達が妨げられ、弱視につながる可能性がある。視覚発達期に片眼入力が持続的に抑えられると、その眼の視覚皮質発達が不十分となり弱視を形成し得る。
イ：「感覚融像」は別の論点である。主な要点は「感覚融像は両眼から得られた視覚情報を一つの像として知覚する中枢過程である。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「運動性融像」は別の論点である。主な要点は「運動性融像は網膜視差を手掛かりに眼位を調整し、感覚融像可能な範囲へ像を保つ。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「融像予備力の意味」は別の論点である。主な要点は「融像性vergenceの予備力が十分であれば、一定の斜位があっても両眼単一視を保ちやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「融像・立体視・抑制」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0053 両眼視・眼位 > 眼位・複視・不同視・不等像視 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「斜位は通常は融像で補正されているが、遮閉などで両眼融像を断つと偏位が現れる潜在性眼位異常である。」

ア．複視の像位置から麻痺筋を推定する原則
イ．眼鏡矯正が像サイズ差へ与える影響
ウ．正位・斜位・斜視
エ．不同視が両眼視発達へ与える影響

0054 両眼視・眼位 > 眼位・複視・不同視・不等像視 | 難易度：応用

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「斜視は両眼視条件でも眼位ずれが顕在する状態である。」

ア．眼鏡矯正が像サイズ差へ与える影響
イ．顕性斜視
ウ．複視の像位置から麻痺筋を推定する原則
エ．不同視が両眼視発達へ与える影響

答え・解説 正答：ウ

ア：「複視の像位置から麻痺筋を推定する原則」は別の論点である。主な要点は「麻痺筋が働く方向へ注視したとき眼位差が増大し、複視間隔も大きくなりやすい。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「眼鏡矯正が像サイズ差へ与える影響」は別の論点である。主な要点は「左右で度数差の大きい眼鏡ではレンズ倍率差が生じ、網膜像サイズ差を自覚することがある。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「正位・斜位・斜視」の要点を示している。斜位は通常は融像で補正されているが、遮閉などで両眼融像を断つと偏位が現れる潜在性眼位異常である。
エ：「不同視が両眼視発達へ与える影響」は別の論点である。主な要点は「視覚発達期に左右眼の像質差が大きいと、より不鮮明な眼の入力が抑えられ、弱視・立体視低下が生じ得る。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼位・複視・不同視・不等像視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：イ

ア：「眼鏡矯正が像サイズ差へ与える影響」は別の論点である。主な要点は「左右で度数差の大きい眼鏡ではレンズ倍率差が生じ、網膜像サイズ差を自覚することがある。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「顕性斜視」の要点を示している。斜視は両眼視条件でも眼位ずれが顕在する状態である。
ウ：「複視の像位置から麻痺筋を推定する原則」は別の論点である。主な要点は「麻痺筋が働く方向へ注視したとき眼位差が増大し、複視間隔も大きくなりやすい。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「不同視が両眼視発達へ与える影響」は別の論点である。主な要点は「視覚発達期に左右眼の像質差が大きいと、より不鮮明な眼の入力が抑えられ、弱視・立体視低下が生じ得る。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼位・複視・不同視・不等像視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0055

両眼視・眼位 > 眼位・複視・不同視・不等像視 | 難易度：標準

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「両眼性複視は左右眼像の位置ずれで生じるため、いずれかの眼を遮閉して両眼入力を断つと通常消失する。」

ア．両眼性複視の特徴

イ．眼鏡矯正が像サイズ差へ与える影響

ウ．不等像視を定義

エ．不同視を定義

0056

両眼視・眼位 > 眼位・複視・不同視・不等像視 | 難易度：基礎

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「麻痺筋の主作用方向。麻痺筋が働く方向へ注視したとき眼位差が増大し、複視間隔も大きくなりやすい。」

ア．複視の像位置から麻痺筋を推定する原則

イ．正位・斜位・斜視

ウ．顕性斜視

エ．眼鏡矯正が像サイズ差へ与える影響

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「両眼性複視の特徴」の要点を示している。両眼性複視は左右眼像の位置ずれで生じるため、いずれかの眼を遮閉して両眼入力を断つと通常消失する。
イ：「眼鏡矯正が像サイズ差へ与える影響」は別の論点である。主な要点は「左右で度数差の大きい眼鏡ではレンズ倍率差が生じ、網膜像サイズ差を自覚することがある。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「不等像視を定義」は別の論点である。主な要点は「不等像視は左右眼で知覚する像サイズ・形状の差を指し、不同視矯正などで問題となる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「不同視を定義」は別の論点である。主な要点は「不同視は左右眼の球面・円柱等の屈折力に差がある状態を指す。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼位・複視・不同視・不等像視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「複視の像位置から麻痺筋を推定する原則」の要点を示している。麻痺筋の主作用方向。麻痺筋が働く方向へ注視したとき眼位差が増大し、複視間隔も大きくなりやすい。
イ：「正位・斜位・斜視」は別の論点である。主な要点は「斜位は通常は融像で補正されているが、遮閉などで両眼融像を断つと偏位が現れる潜在性眼位異常である。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「顕性斜視」は別の論点である。主な要点は「斜視は両眼視条件でも眼位ずれが顕在する状態である。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「眼鏡矯正が像サイズ差へ与える影響」は別の論点である。主な要点は「左右で度数差の大きい眼鏡ではレンズ倍率差が生じ、網膜像サイズ差を自覚することがある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼位・複視・不同視・不等像視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0057 両眼視・眼位 > 眼位・複視・不同視・不等像視 | 難易度：応用

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「不同視は左右眼の球面・円柱等の屈折力に差がある状態を指す。」

ア．眼鏡矯正が像サイズ差へ与える影響
イ．両眼性複視の特徴
ウ．不同視を定義
エ．正位・斜位・斜視

答え・解説 正答：ウ

ア：「眼鏡矯正が像サイズ差へ与える影響」は別の論点である。主な要点は「左右で度数差の大きい眼鏡ではレンズ倍率差が生じ、網膜像サイズ差を自覚することがある。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「両眼性複視の特徴」は別の論点である。主な要点は「両眼性複視は左右眼像の位置ずれで生じるため、いずれかの眼を遮閉して両眼入力を断つと通常消失する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「不同視を定義」の要点を示している。不同視は左右眼の球面・円柱等の屈折力に差がある状態を指す。
エ：「正位・斜位・斜視」は別の論点である。主な要点は「斜位は通常は融像で補正されているが、遮閉などで両眼融像を断つと偏位が現れる潜在性眼位異常である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼位・複視・不同視・不等像視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0058 両眼視・眼位 > 眼位・複視・不同視・不等像視 | 難易度：基礎

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「視覚発達期に左右眼の像質差が大きいと、より不鮮明な眼の入力が抑えられ、弱視・立体視低下が生じ得る。」

ア．正位・斜位・斜視
イ．複視の像位置から麻痺筋を推定する原則
ウ．不同視が両眼視発達へ与える影響
エ．顕性斜視

答え・解説 正答：ウ

ア：「正位・斜位・斜視」は別の論点である。主な要点は「斜位は通常は融像で補正されているが、遮閉などで両眼融像を断つと偏位が現れる潜在性眼位異常である。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「複視の像位置から麻痺筋を推定する原則」は別の論点である。主な要点は「麻痺筋が働く方向へ注視したとき眼位差が増大し、複視間隔も大きくなりやすい。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「不同視が両眼視発達へ与える影響」の要点を示している。視覚発達期に左右眼の像質差が大きいと、より不鮮明な眼の入力が抑えられ、弱視・立体視低下が生じ得る。
エ：「顕性斜視」は別の論点である。主な要点は「斜視は両眼視条件でも眼位ずれが顕在する状態である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼位・複視・不同視・不等像視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0059 両眼視・眼位 > 眼位・複視・不同視・不等像視 | 難易度：標準

「眼位・複視・不同視・不等像視」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「不等像視は左右眼で知覚する像サイズ・形状の差を指し、不同視矯正などで問題となる。」

ア．眼鏡矯正が像サイズ差へ与える影響
イ．両眼性複視の特徴
ウ．不等像視を定義
エ．正位・斜位・斜視

答え・解説 正答：ウ

ア：「眼鏡矯正が像サイズ差へ与える影響」は別の論点である。主な要点は「左右で度数差の大きい眼鏡ではレンズ倍率差が生じ、網膜像サイズ差を自覚することがある。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「両眼性複視の特徴」は別の論点である。主な要点は「両眼性複視は左右眼像の位置ずれで生じるため、いずれかの眼を遮閉して両眼入力を断つと通常消失する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「不等像視を定義」の要点を示している。不等像視は左右眼で知覚する像サイズ・形状の差を指し、不同視矯正などで問題となる。
エ：「正位・斜位・斜視」は別の論点である。主な要点は「斜位は通常は融像で補正されているが、遮閉などで両眼融像を断つと偏位が現れる潜在性眼位異常である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼位・複視・不同視・不等像視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0060 両眼視・眼位 > 眼位・複視・不同視・不等像視 | 難易度：標準

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「眼鏡レンズの倍率差により不等像視が生じている可能性。左右で度数差の大きい眼鏡ではレンズ倍率差が生じ、網膜像サイズ差を自覚することがある。」

ア．顕性斜視
イ．不同視を定義
ウ．眼鏡矯正が像サイズ差へ与える影響
エ．正位・斜位・斜視

答え・解説 正答：ウ

ア：「顕性斜視」は別の論点である。主な要点は「斜視は両眼視条件でも眼位ずれが顕在する状態である。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「不同視を定義」は別の論点である。主な要点は「不同視は左右眼の球面・円柱等の屈折力に差がある状態を指す。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「眼鏡矯正が像サイズ差へ与える影響」の要点を示している。眼鏡レンズの倍率差により不等像視が生じている可能性。左右で度数差の大きい眼鏡ではレンズ倍率差が生じ、網膜像サイズ差を自覚することがある。
エ：「正位・斜位・斜視」は別の論点である。主な要点は「斜位は通常は融像で補正されているが、遮閉などで両眼融像を断つと偏位が現れる潜在性眼位異常である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼位・複視・不同視・不等像視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0061

眼球運動・輻湊調節 > 外眼筋の作用・神経支配・法則 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「外直筋は眼球を外転させ、第Ⅵ脳神経である外転神経に支配される。」

ア・Sherringtonの法則

イ・外直筋の作用と支配神経

ウ・拮抗筋を同定

エ・麻痺性斜視の二次偏位

答え・解説

正答：イ

ア：「Sherringtonの法則」は別の論点である。主な要点は「Sherringtonの法則では、眼球運動時に主動筋が収縮すると同一眼の拮抗筋が弛緩する方向へ神経支配が調整される。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「外直筋の作用と支配神経」の要点を示している。外直筋は眼球を外転させ、第Ⅵ脳神経である外転神経に支配される。

ウ：「拮抗筋を同定」は別の論点である。主な要点は「右外直筋は外転、右内直筋は内転を生じるため同一眼の水平拮抗筋である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「麻痺性斜視の二次偏位」は別の論点である。主な要点は「麻痺眼で固視すると麻痺筋へ大きな神経入力が必要となり、その共同筋にも等量入力を送られるため二次偏位が大きくなりやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「外眼筋の作用・神経支配・法則」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0062

眼球運動・輻湊調節 > 外眼筋の作用・神経支配・法則 | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「上斜筋の一次作用は内旋で、二次的に下転、外転へ作用する。」

ア・Sherringtonの法則

イ・Heringの法則

ウ・上斜筋の主作用

エ・動眼神経支配筋を列挙

答え・解説

正答：ウ

ア：「Sherringtonの法則」は別の論点である。主な要点は「Sherringtonの法則では、眼球運動時に主動筋が収縮すると同一眼の拮抗筋が弛緩する方向へ神経支配が調整される。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「Heringの法則」は別の論点である。主な要点は「Heringの法則は、共同注視時に左右眼のyoke muscleへ等量の神経入力を送られることを示す。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「上斜筋の主作用」の要点を示している。上斜筋の一次作用は内旋で、二次的に下転、外転へ作用する。

エ：「動眼神経支配筋を列挙」は別の論点である。主な要点は「動眼神経は外直筋と上斜筋を除く主要外眼筋を支配する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「外眼筋の作用・神経支配・法則」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0063

眼球運動・輻湊調節 > 外眼筋の作用・神経支配・法則 | 難易度：標準

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。
「下斜筋の一次作用は外旋で、二次的に上転、外転へ作用する。」

ア．Sherringtonの法則

イ．動眼神経支配筋を列挙

ウ．下斜筋の主作用

エ．Heringの法則

答え・解説

正答：ウ

ア：「Sherringtonの法則」は別の論点である。主な要点は「Sherringtonの法則では、眼球運動時に主動筋が収縮すると同一眼の拮抗筋が弛緩する方向へ神経支配が調整される。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「動眼神経支配筋を列挙」は別の論点である。主な要点は「動眼神経は外直筋と上斜筋を除く主要外眼筋を支配する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「下斜筋の主作用」の要点を示している。下斜筋の一次作用は外旋で、二次的に上転、外転へ作用する。
エ：「Heringの法則」は別の論点である。主な要点は「Heringの法則は、共同注視時に左右眼のyoke muscleへ等量の神経入力を送られることを示す。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「外眼筋の作用・神経支配・法則」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0064

眼球運動・輻湊調節 > 外眼筋の作用・神経支配・法則 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なものはどれか。
「右上直筋。眼球を外転させると上直筋の走行が視軸とより平行になり、上転作用を評価しやすくなる。」

ア．Sherringtonの法則

イ．Heringの法則

ウ．上下直筋の作用方向

エ．麻痺性斜視の二次偏位

答え・解説

正答：ウ

ア：「Sherringtonの法則」は別の論点である。主な要点は「Sherringtonの法則では、眼球運動時に主動筋が収縮すると同一眼の拮抗筋が弛緩する方向へ神経支配が調整される。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「Heringの法則」は別の論点である。主な要点は「Heringの法則は、共同注視時に左右眼のyoke muscleへ等量の神経入力を送られることを示す。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「上下直筋の作用方向」の要点を示している。右上直筋。眼球を外転させると上直筋の走行が視軸とより平行になり、上転作用を評価しやすくなる。
エ：「麻痺性斜視の二次偏位」は別の論点である。主な要点は「麻痺眼で固視すると麻痺筋へ大きな神経入力が必要となり、その共同筋にも等量入力を送られるため二次偏位が大きくなりやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「外眼筋の作用・神経支配・法則」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0065

眼球運動・輻湊調節 > 外眼筋の作用・神経支配・法則 | 難易度：基礎

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「下斜筋の上転作用は内転位で最も評価しやすい。」

ア．斜筋の上下作用を眼位と関連づけられる
イ．Sherringtonの法則
ウ．Heringの法則
エ．動眼神経支配筋を列挙

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「斜筋の上下作用を眼位と関連づけられる」の要点を示している。下斜筋の上転作用は内転位で最も評価しやすい。
イ：「Sherringtonの法則」は別の論点である。主な要点は「Sherringtonの法則では、眼球運動時に主動筋が収縮すると同一眼の拮抗筋が弛緩する方向へ神経支配が調整される。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「Heringの法則」は別の論点である。主な要点は「Heringの法則は、共同注視時に左右眼のyoke muscleへ等量の神経入力を送られることを示す。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「動眼神経支配筋を列挙」は別の論点である。主な要点は「動眼神経は外直筋と上斜筋を除く主要外眼筋を支配する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「外眼筋の作用・神経支配・法則」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0066

眼球運動・輻湊調節 > 外眼筋の作用・神経支配・法則 | 難易度：基礎

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「動眼神経は外直筋と上斜筋を除く主要外眼筋を支配する。」

ア．動眼神経支配筋を列挙
イ．Heringの法則
ウ．Sherringtonの法則
エ．麻痺性斜視の二次偏位

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「動眼神経支配筋を列挙」の要点を示している。動眼神経は外直筋と上斜筋を除く主要外眼筋を支配する。
イ：「Heringの法則」は別の論点である。主な要点は「Heringの法則は、共同注視時に左右眼のyoke muscleへ等量の神経入力を送られることを示す。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「Sherringtonの法則」は別の論点である。主な要点は「Sherringtonの法則では、眼球運動時に主動筋が収縮すると同一眼の拮抗筋が弛緩する方向へ神経支配が調整される。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「麻痺性斜視の二次偏位」は別の論点である。主な要点は「麻痺眼で固視すると麻痺筋へ大きな神経入力が必要となり、その共同筋にも等量入力を送られるため二次偏位が大きくなりやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「外眼筋の作用・神経支配・法則」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0067

眼球運動・輻湊調節 > 外眼筋の作用・神経支配・法則 | 難易度：応用

「外眼筋の作用・神経支配・法則」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「Heringの法則は、共同注視時に左右眼のyoke muscleへ等量の神経入力を送られることを示す。」

ア．Heringの法則
イ．動眼神経支配筋を列挙
ウ．共同筋を同定
エ．拮抗筋を同定

0068

眼球運動・輻湊調節 > 外眼筋の作用・神経支配・法則 | 難易度：標準

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「ある筋への神経支配が増加すると、同一眼の拮抗筋への支配は減少する。Sherringtonの法則では、眼球運動時に主動筋が収縮すると同一眼の拮抗筋が弛緩する方向へ神経支配が調整される。」

ア．外眼筋作用を三軸で説明
イ．Sherringtonの法則
ウ．拮抗筋を同定
エ．動眼神経支配筋を列挙

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「Heringの法則」の要点を示している。Heringの法則は、共同注視時に左右眼のyoke muscleへ等量の神経入力を送られることを示す。
イ：「動眼神経支配筋を列挙」は別の論点である。主な要点は「動眼神経は外直筋と上斜筋を除く主要外眼筋を支配する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「共同筋を同定」は別の論点である。主な要点は「右方視では右眼が外転し左眼が内転するため、右外直筋と左内直筋がyoke muscleとなる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「拮抗筋を同定」は別の論点である。主な要点は「右外直筋は外転、右内直筋は内転を生じるため同一眼の水平拮抗筋である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「外眼筋の作用・神経支配・法則」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

答え・解説

正答：イ

ア：「外眼筋作用を三軸で説明」は別の論点である。主な要点は「眼球は水平軸、垂直軸、前後軸に関連して内外転、上下転、内外旋を行う。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「Sherringtonの法則」の要点を示している。ある筋への神経支配が増加すると、同一眼の拮抗筋への支配は減少する。Sherringtonの法則では、眼球運動時に主動筋が収縮すると同一眼の拮抗筋が弛緩する方向へ神経支配が調整される。
ウ：「拮抗筋を同定」は別の論点である。主な要点は「右外直筋は外転、右内直筋は内転を生じるため同一眼の水平拮抗筋である。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「動眼神経支配筋を列挙」は別の論点である。主な要点は「動眼神経は外直筋と上斜筋を除く主要外眼筋を支配する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「外眼筋の作用・神経支配・法則」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

0069 眼球運動・輻湊調節 > 外眼筋の作用・神経支配・法則 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「右方視では右眼が外転し左眼が内転するため、右外直筋と左内直筋がyoke muscleとなる。」

ア．Heringの法則

イ．Sherringtonの法則

ウ．共同筋を同定

エ．麻痺性斜視の二次偏位

0070 眼球運動・輻湊調節 > 外眼筋の作用・神経支配・法則 | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「右外直筋は外転、右内直筋は内転を生じるため同一眼の水平拮抗筋である。」

ア．拮抗筋を同定

イ．Sherringtonの法則

ウ．Heringの法則

エ．麻痺性斜視の二次偏位

答え・解説 正答：ウ

ア：「Heringの法則」は別の論点である。主な要点は「Heringの法則は、共同注視時に左右眼のyoke muscleへ等量の神経入力を送られることを示す。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「Sherringtonの法則」は別の論点である。主な要点は「Sherringtonの法則では、眼球運動時に主動筋が収縮すると同一眼の拮抗筋が弛緩する方向へ神経支配が調整される。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「共同筋を同定」の要点を示している。右方視では右眼が外転し左眼が内転するため、右外直筋と左内直筋がyoke muscleとなる。

エ：「麻痺性斜視の二次偏位」は別の論点である。主な要点は「麻痺眼で固視すると麻痺筋へ大きな神経入力が必要となり、その共同筋にも等量入力を送られるため二次偏位が大きくなりやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「外眼筋の作用・神経支配・法則」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「拮抗筋を同定」の要点を示している。右外直筋は外転、右内直筋は内転を生じるため同一眼の水平拮抗筋である。

イ：「Sherringtonの法則」は別の論点である。主な要点は「Sherringtonの法則では、眼球運動時に主動筋が収縮すると同一眼の拮抗筋が弛緩する方向へ神経支配が調整される。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「Heringの法則」は別の論点である。主な要点は「Heringの法則は、共同注視時に左右眼のyoke muscleへ等量の神経入力を送られることを示す。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「麻痺性斜視の二次偏位」は別の論点である。主な要点は「麻痺眼で固視すると麻痺筋へ大きな神経入力が必要となり、その共同筋にも等量入力を送られるため二次偏位が大きくなりやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「外眼筋の作用・神経支配・法則」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0071

眼球運動・輻湊調節 > 外眼筋の作用・神経支配・法則 | 難易度：応用

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「麻痺眼で固視すると麻痺筋へ大きな神経入力が必要となり、その共同筋にも等量入力を送られるため二次偏位が大きくなりやすい。」

ア．外眼筋作用を三軸で説明

イ．拮抗筋を同定

ウ．麻痺性斜視の二次偏位

エ．動眼神経支配筋を列挙

0072

眼球運動・輻湊調節 > 外眼筋の作用・神経支配・法則 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「水平運動・垂直運動・回旋運動。眼球は水平軸、垂直軸、前後軸に関連して内外転、上下転、内外旋を行う。」

ア．外眼筋作用を三軸で説明

イ．Sherringtonの法則

ウ．麻痺性斜視の二次偏位

エ．Heringの法則

答え・解説

正答：ウ

ア：「外眼筋作用を三軸で説明」は別の論点である。主な要点は「眼球は水平軸、垂直軸、前後軸に関連して内外転、上下転、内外旋を行う。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「拮抗筋を同定」は別の論点である。主な要点は「右外直筋は外転、右内直筋は内転を生じるため同一眼の水平拮抗筋である。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「麻痺性斜視の二次偏位」の要点を示している。麻痺眼で固視すると麻痺筋へ大きな神経入力が必要となり、その共同筋にも等量入力を送られるため二次偏位が大きくなりやすい。
エ：「動眼神経支配筋を列挙」は別の論点である。主な要点は「動眼神経は外直筋と上斜筋を除く主要外眼筋を支配する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「外眼筋の作用・神経支配・法則」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「外眼筋作用を三軸で説明」の要点を示している。水平運動・垂直運動・回旋運動。眼球は水平軸、垂直軸、前後軸に関連して内外転、上下転、内外旋を行う。
イ：「Sherringtonの法則」は別の論点である。主な要点は「Sherringtonの法則では、眼球運動時に主動筋が収縮すると同一眼の拮抗筋が弛緩する方向へ神経支配が調整される。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「麻痺性斜視の二次偏位」は別の論点である。主な要点は「麻痺眼で固視すると麻痺筋へ大きな神経入力が必要となり、その共同筋にも等量入力を送られるため二次偏位が大きくなりやすい。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「Heringの法則」は別の論点である。主な要点は「Heringの法則は、共同注視時に左右眼のyoke muscleへ等量の神経入力を送られることを示す。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「外眼筋の作用・神経支配・法則」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0073

眼球運動・輻湊調節 > 共同運動・非共同運動 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「versionは左右眼が同方向へ動く両眼共同運動を指す。」

ア．サッカードの機能

イ．単眼運動と両眼運動の用語

ウ．滑動性追従眼球運動の機能

エ．共同運動を定義

答え・解説

正答：エ

ア：「サッカードの機能」は別の論点である。主な要点は「サッカードは高速の共同眼球運動で、興味のある対象へ中心窩を素早く向ける。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「単眼運動と両眼運動の用語」は別の論点である。主な要点は「単眼の運動はductionで表し、外方への単眼運動はabductionである。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「滑動性追従眼球運動の機能」は別の論点である。主な要点は「smooth pursuitは動く標的の速度に眼球速度を合わせて追跡し、像を中心窩に維持する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「共同運動を定義」の要点を示している。versionは左右眼が同方向へ動く両眼共同運動を指す。

総合解説：この問題は「共同運動・非共同運動」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0074

眼球運動・輻湊調節 > 共同運動・非共同運動 | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「vergenceでは両眼が反対方向へ回転し、輻湊や開散によって注視距離へ視線を合わせる。」

ア．サッカードの機能

イ．非共同運動を定義

ウ．前庭動眼反射の役割

エ．単眼運動と両眼運動の用語

答え・解説

正答：イ

ア：「サッカードの機能」は別の論点である。主な要点は「サッカードは高速の共同眼球運動で、興味のある対象へ中心窩を素早く向ける。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「非共同運動を定義」の要点を示している。vergenceでは両眼が反対方向へ回転し、輻湊や開散によって注視距離へ視線を合わせる。

ウ：「前庭動眼反射の役割」は別の論点である。主な要点は「前庭動眼反射は頭部運動と反対方向へ眼球を動かし、頭部運動中も網膜像を安定化する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「単眼運動と両眼運動の用語」は別の論点である。主な要点は「単眼の運動はductionで表し、外方への単眼運動はabductionである。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「共同運動・非共同運動」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0075

眼球運動・輻湊調節 > 共同運動・非共同運動 | 難易度：標準

「共同運動・非共同運動」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「右眼を外転、左眼を内転させることで両眼の視線が右へ向く。」

ア．サッカードの機能

イ．右方共同運動を筋作用で説明

ウ．前庭動眼反射の役割

エ．滑動性追従眼球運動の機能

0076

眼球運動・輻湊調節 > 共同運動・非共同運動 | 難易度：基礎

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「視線を一つの注視対象から別の対象へ素早く移す。サッカードは高速の共同眼球運動で、興味のある対象へ中心窩を素早く向ける。」

ア．右方共同運動を筋作用で説明

イ．共同運動異常から麻痺筋を推定

ウ．共同運動を定義

エ．サッカードの機能

答え・解説

正答：イ

ア：「サッカードの機能」は別の論点である。主な要点は「サッカードは高速の共同眼球運動で、興味のある対象へ中心窩を素早く向ける。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「右方共同運動を筋作用で説明」の要点を示している。右眼を外転、左眼を内転させることで両眼の視線が右へ向く。

ウ：「前庭動眼反射の役割」は別の論点である。主な要点は「前庭動眼反射は頭部運動と反対方向へ眼球を動かし、頭部運動中も網膜像を安定化する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「滑動性追従眼球運動の機能」は別の論点である。主な要点は「smooth pursuitは動く標的の速度に眼球速度を合わせて追跡し、像を中心窩に維持する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「共同運動・非共同運動」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「右方共同運動を筋作用で説明」は別の論点である。主な要点は「右眼を外転、左眼を内転させることで両眼の視線が右へ向く。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「共同運動異常から麻痺筋を推定」は別の論点である。主な要点は「右方視には右外直筋による外転が必要であり、左内転が保たれるなら右外転系の障害を考える。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「共同運動を定義」は別の論点である。主な要点は「versionは左右眼が同方向へ動く両眼共同運動を指す。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「サッカードの機能」の要点を示している。視線を一つの注視対象から別の対象へ素早く移す。サッカードは高速の共同眼球運動で、興味のある対象へ中心窩を素早く向ける。

総合解説：この問題は「共同運動・非共同運動」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0077

眼球運動・輻湊調節 > 共同運動・非共同運動 | 難易度：基礎

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「smooth pursuitは動く標的の速度に眼球速度を合わせて追跡し、像を中心窩に維持する。」

ア．滑動性追従眼球運動の機能

イ．共同運動異常から麻痺筋を推定

ウ．右方共同運動を筋作用で説明

エ．非共同運動を定義

0078

眼球運動・輻湊調節 > 共同運動・非共同運動 | 難易度：標準

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「前庭動眼反射は頭部運動と反対方向へ眼球を動かし、頭部運動中も網膜像を安定化する。」

ア．前庭動眼反射の役割

イ．共同運動異常から麻痺筋を推定

ウ．眼球運動検査で頭位固定が必要な理由

エ．右方共同運動を筋作用で説明

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「滑動性追従眼球運動の機能」の要点を示している。smooth pursuitは動く標的の速度に眼球速度を合わせて追跡し、像を中心窩に維持する。

イ：「共同運動異常から麻痺筋を推定」は別の論点である。主な要点は「右方視には右外直筋による外転が必要であり、左内転が保たれるなら右外転系の障害を考える。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「右方共同運動を筋作用で説明」は別の論点である。主な要点は「右眼を外転、左眼を内転させることで両眼の視線が右へ向く。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「非共同運動を定義」は別の論点である。主な要点は「vergenceでは両眼が反対方向へ回転し、輻湊や開散によって注視距離へ視線を合わせる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「共同運動・非共同運動」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「前庭動眼反射の役割」の要点を示している。前庭動眼反射は頭部運動と反対方向へ眼球を動かし、頭部運動中も網膜像を安定化する。

イ：「共同運動異常から麻痺筋を推定」は別の論点である。主な要点は「右方視には右外直筋による外転が必要であり、左内転が保たれるなら右外転系の障害を考える。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「眼球運動検査で頭位固定が必要な理由」は別の論点である。主な要点は「頭部を動かすと眼球運動制限を補償できるため、外眼筋機能評価では頭位を安定させる必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「右方共同運動を筋作用で説明」は別の論点である。主な要点は「右眼を外転、左眼を内転させることで両眼の視線が右へ向く。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「共同運動・非共同運動」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0079

眼球運動・輻湊調節 > 共同運動・非共同運動 | 難易度：基礎

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。
「視運動性眼振は持続的に動く広視野刺激に対し、追従性の緩徐相とリセットする急速相が交互に生じる。」

ア．視運動性眼振の機能

イ．共同運動異常から麻痺筋を推定

ウ．眼球運動検査で頭位固定が必要な理由

エ．右方共同運動を筋作用で説明

0080

眼球運動・輻湊調節 > 共同運動・非共同運動 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「abduction（外転）というduction。単眼の運動はductionで表し、外方への単眼運動はabductionである。」

ア．サッカードの機能

イ．共同運動異常から麻痺筋を推定

ウ．前庭動眼反射の役割

エ．単眼運動と両眼運動の用語

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「視運動性眼振の機能」の要点を示している。視運動性眼振は持続的に動く広視野刺激に対し、追従性の緩徐相とリセットする急速相が交互に生じる。
イ：「共同運動異常から麻痺筋を推定」は別の論点である。主な要点は「右方視には右外直筋による外転が必要であり、左内転が保たれるなら右外転系の障害を考える。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「眼球運動検査で頭位固定が必要な理由」は別の論点である。主な要点は「頭部を動かすと眼球運動制限を補償できるため、外眼筋機能評価では頭位を安定させる必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「右方共同運動を筋作用で説明」は別の論点である。主な要点は「右眼を外転、左眼を内転させることで両眼の視線が右へ向く。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「共同運動・非共同運動」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「サッカードの機能」は別の論点である。主な要点は「サッカードは高速の共同眼球運動で、興味のある対象へ中心窩を素早く向ける。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「共同運動異常から麻痺筋を推定」は別の論点である。主な要点は「右方視には右外直筋による外転が必要であり、左内転が保たれるなら右外転系の障害を考える。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「前庭動眼反射の役割」は別の論点である。主な要点は「前庭動眼反射は頭部運動と反対方向へ眼球を動かし、頭部運動中も網膜像を安定化する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「単眼運動と両眼運動の用語」の要点を示している。abduction（外転）というduction。単眼の運動はductionで表し、外方への単眼運動はabductionである。

総合解説：この問題は「共同運動・非共同運動」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0081

眼球運動・輻湊調節 > 共同運動・非共同運動 | 難易度：応用

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「右方視には右外直筋による外転が必要であり、左内転が保たれるなら右外転系の障害を考える。」

ア．共同運動異常から麻痺筋を推定

イ．サッカードの機能

ウ．前庭動眼反射の役割

エ．滑動性追従眼球運動の機能

0082

眼球運動・輻湊調節 > 共同運動・非共同運動 | 難易度：応用

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「頭部を動かすと眼球運動制限を補償できるため、外眼筋機能評価では頭位を安定させる必要がある。」

ア．サッカードの機能

イ．眼球運動検査で頭位固定が必要な理由

ウ．前庭動眼反射の役割

エ．視運動性眼振の機能

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「共同運動異常から麻痺筋を推定」の要点を示している。右方視には右外直筋による外転が必要であり、左内転が保たれるなら右外転系の障害を考える。

イ：「サッカードの機能」は別の論点である。主な要点は「サッカードは高速の共同眼球運動で、興味のある対象へ中心窩を素早く向ける。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「前庭動眼反射の役割」は別の論点である。主な要点は「前庭動眼反射は頭部運動と反対方向へ眼球を動かし、頭部運動中も網膜像を安定化する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「滑動性追従眼球運動の機能」は別の論点である。主な要点は「smooth pursuitは動く標的の速度に眼球速度を合わせて追跡し、像を中心窩に維持する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「共同運動・非共同運動」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：イ

ア：「サッカードの機能」は別の論点である。主な要点は「サッカードは高速の共同眼球運動で、興味のある対象へ中心窩を素早く向ける。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「眼球運動検査で頭位固定が必要な理由」の要点を示している。頭部を動かすと眼球運動制限を補償できるため、外眼筋機能評価では頭位を安定させる必要がある。

ウ：「前庭動眼反射の役割」は別の論点である。主な要点は「前庭動眼反射は頭部運動と反対方向へ眼球を動かし、頭部運動中も網膜像を安定化する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「視運動性眼振の機能」は別の論点である。主な要点は「視運動性眼振は持続的に動く広視野刺激に対し、追従性の緩徐相とリセットする急速相が交互に生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「共同運動・非共同運動」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0083

眼球運動・輻湊調節 > 輻湊・開散・調節・AC/A比 | 難易度：標準

「輻湊・開散・調節・AC/A比」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「近見対象を見ると、両眼の輻湊、水晶体調節、瞳孔縮小が協調して起こる。」

ア．輻湊
イ．近見三徴
ウ．開散
エ．調節刺激と調節反応

0084

眼球運動・輻湊調節 > 輻湊・開散・調節・AC/A比 | 難易度：標準

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「近方対象へ両眼の視線を合わせるため両眼が内転する。輻湊では両眼が鼻側へ回転し、近方の同一対象へ視線を一致させる。」

ア．近見三徴
イ．輻湊
ウ．開散
エ．調節刺激と調節反応

答え・解説

正答：イ

ア：「輻湊」は別の論点である。主な要点は「輻湊では両眼が鼻側へ回転し、近方の同一対象へ視線を一致させる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「近見三徴」の要点を示している。近見対象を見ると、両眼の輻湊、水晶体調節、瞳孔縮小が協調して起こる。
ウ：「開散」は別の論点である。主な要点は「遠方へ注視点を移す際には、近見時より両眼の内転量を減らし、視線を外方へ開く開散が生じる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「調節刺激と調節反応」は別の論点である。主な要点は「調節刺激は視距離[m]の逆数で表され、0.40 mでは1/0.40=2.5 Dとなる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「輻湊・開散・調節・AC/A比」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：イ

ア：「近見三徴」は別の論点である。主な要点は「近見対象を見ると、両眼の輻湊、水晶体調節、瞳孔縮小が協調して起こる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「輻湊」の要点を示している。近方対象へ両眼の視線を合わせるため両眼が内転する。輻湊では両眼が鼻側へ回転し、近方の同一対象へ視線を一致させる。
ウ：「開散」は別の論点である。主な要点は「遠方へ注視点を移す際には、近見時より両眼の内転量を減らし、視線を外方へ開く開散が生じる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「調節刺激と調節反応」は別の論点である。主な要点は「調節刺激は視距離[m]の逆数で表され、0.40 mでは1/0.40=2.5 Dとなる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「輻湊・開散・調節・AC/A比」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0085

眼球運動・輻湊調節 > 輻湊・開散・調節・AC/A比 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「遠方へ注視点を移す際には、近見時より両眼の内転量を減らし、視線を外方へ開く開散が生じる。」

ア．開散
イ．近見三徴
ウ．輻湊
エ．調節刺激と調節反応

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「開散」の要点を示している。遠方へ注視点を移す際には、近見時より両眼の内転量を減らし、視線を外方へ開く開散が生じる。
イ：「近見三徴」は別の論点である。主な要点は「近見対象を見ると、両眼の輻湊、水晶体調節、瞳孔縮小が協調して起こる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「輻湊」は別の論点である。主な要点は「輻湊では両眼が鼻側へ回転し、近方の同一対象へ視線を一致させる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「調節刺激と調節反応」は別の論点である。主な要点は「調節刺激は視距離[m]の逆数で表され、0.40 mでは1/0.40=2.5 Dとなる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「輻湊・開散・調節・AC/A比」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0086

眼球運動・輻湊調節 > 輻湊・開散・調節・AC/A比 | 難易度：応用

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「調節刺激は視距離[m]の逆数で表され、0.40 mでは1/0.40=2.5 Dとなる。」

ア．近見三徴
イ．調節刺激と調節反応
ウ．輻湊
エ．開散

答え・解説

正答：イ

ア：「近見三徴」は別の論点である。主な要点は「近見対象を見ると、両眼の輻湊、水晶体調節、瞳孔縮小が協調して起こる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「調節刺激と調節反応」の要点を示している。調節刺激は視距離[m]の逆数で表され、0.40 mでは1/0.40=2.5 Dとなる。
ウ：「輻湊」は別の論点である。主な要点は「輻湊では両眼が鼻側へ回転し、近方の同一対象へ視線を一致させる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「開散」は別の論点である。主な要点は「遠方へ注視点を移す際には、近見時より両眼の内転量を減らし、視線を外方へ開く開散が生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「輻湊・開散・調節・AC/A比」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0087

眼球運動・輻湊調節 > 輻湊・開散・調節・AC/A比 | 難易度：基礎

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。
「AC/A比はaccommodative convergence per accommodationの略で、調節とそれに伴う輻湊の結び付きを示す。」
ア．AC/A比を定義
イ．開散
ウ．調節刺激と調節反応
エ．輻湊

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「AC/A比を定義」の要点を示している。AC/A比はaccommodative convergence per accommodationの略で、調節とそれに伴う輻湊の結び付きを示す。
イ：「開散」は別の論点である。主な要点は「遠方へ注視点を移す際には、近見時より両眼の内転量を減らし、視線を外方へ開く開散が生じる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「調節刺激と調節反応」は別の論点である。主な要点は「調節刺激は視距離[m]の逆数で表され、0.40 mでは1/0.40=2.5 Dとなる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「輻湊」は別の論点である。主な要点は「輻湊では両眼が鼻側へ回転し、近方の同一対象へ視線を一致させる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「輻湊・開散・調節・AC/A比」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0088

眼球運動・輻湊調節 > 輻湊・開散・調節・AC/A比 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なものはどれか。
「同じ調節量に対して調節性輻湊が大きく生じる。高AC/A比では1 Dの調節に伴う輻湊量が大きいため、近見時に内寄せが増えやすい。」
ア．開散
イ．高AC/A比の臨床的意味
ウ．調節刺激と調節反応
エ．輻湊

答え・解説

正答：イ

ア：「開散」は別の論点である。主な要点は「遠方へ注視点を移す際には、近見時より両眼の内転量を減らし、視線を外方へ開く開散が生じる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「高AC/A比の臨床的意味」の要点を示している。同じ調節量に対して調節性輻湊が大きく生じる。高AC/A比では1 Dの調節に伴う輻湊量が大きいため、近見時に内寄せが増えやすい。
ウ：「調節刺激と調節反応」は別の論点である。主な要点は「調節刺激は視距離[m]の逆数で表され、0.40 mでは1/0.40=2.5 Dとなる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「輻湊」は別の論点である。主な要点は「輻湊では両眼が鼻側へ回転し、近方の同一対象へ視線を一致させる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「輻湊・開散・調節・AC/A比」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0089

眼球運動・輻湊調節 > 輻湊・開散・調節・AC/A比 | 難易度：応用

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「近見で調節が生じると神経学的に結び付いた輻湊も誘発され、この成分を調節性輻湊という。」

ア．開散

イ．調節性輻湊

ウ．近見三徴

エ．高AC/A比の臨床的意味

0090

眼球運動・輻湊調節 > 輻湊・開散・調節・AC/A比 | 難易度：基礎

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「近見では調節と輻湊が協調し、融像性vergenceの予備力が不足すると眼精疲労や複視が生じ得る。」

ア．近見三徴

イ．開散

ウ．高AC/A比の臨床的意味

エ．調節と輻湊の不均衡から症状を推定

答え・解説

正答：イ

ア：「開散」は別の論点である。主な要点は「遠方へ注視点を移す際には、近見時より両眼の内転量を減らし、視線を外方へ開く開散が生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「調節性輻湊」の要点を示している。近見で調節が生じると神経学的に結び付いた輻湊も誘発され、この成分を調節性輻湊という。

ウ：「近見三徴」は別の論点である。主な要点は「近見対象を見ると、両眼の輻湊、水晶体調節、瞳孔縮小が協調して起こる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「高AC/A比の臨床的意味」は別の論点である。主な要点は「高AC/A比では1Dの調節に伴う輻湊量が大きいため、近見時に内寄せが増えやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「輻湊・開散・調節・AC/A比」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「近見三徴」は別の論点である。主な要点は「近見対象を見ると、両眼の輻湊、水晶体調節、瞳孔縮小が協調して起こる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「開散」は別の論点である。主な要点は「遠方へ注視点を移す際には、近見時より両眼の内転量を減らし、視線を外方へ開く開散が生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「高AC/A比の臨床的意味」は別の論点である。主な要点は「高AC/A比では1Dの調節に伴う輻湊量が大きいため、近見時に内寄せが増えやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「調節と輻湊の不均衡から症状を推定」の要点を示している。近見では調節と輻湊が協調し、融像性vergenceの予備力が不足すると眼精疲労や複視が生じ得る。

総合解説：この問題は「輻湊・開散・調節・AC/A比」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0091

視覚生理 > 光覚・明暗順応 | 難易度：標準

「光覚・明暗順応」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「杆体は低照度で高感度に働き、暗所視を担う。」

ア．Purkinje shift
イ．絶対閾
ウ．杆体と錐体の感度差
エ．暗順応を阻害する条件

答え・解説

正答：ウ

ア：「Purkinje shift」は別の論点である。主な要点は「暗所へ移ると感度の中心が錐体系から杆体系へ移り、短波長側が相対的に明るく感じられる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「絶対閾」は別の論点である。主な要点は「絶対閾は検出可能な最小刺激強度を示す。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「杆体と錐体の感度差」の要点を示している。杆体は低照度で高感度に働き、暗所視を担う。
エ：「暗順応を阻害する条件」は別の論点である。主な要点は「強い前順応光は視物質を漂白し、暗所での感度回復に時間を要する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「光覚・明暗順応」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0092

視覚生理 > 光覚・明暗順応 | 難易度：基礎

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「錐体が主に働き、色覚と高い空間分解能に寄与する。明所では錐体が主に活動し、中心視・色覚・高解像度視に寄与する。」

ア．Purkinje shift
イ．明所視の特徴
ウ．絶対閾
エ．rod-cone break

答え・解説

正答：イ

ア：「Purkinje shift」は別の論点である。主な要点は「暗所へ移ると感度の中心が錐体系から杆体系へ移り、短波長側が相対的に明るく感じられる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「明所視の特徴」の要点を示している。錐体が主に働き、色覚と高い空間分解能に寄与する。明所では錐体が主に活動し、中心視・色覚・高解像度視に寄与する。
ウ：「絶対閾」は別の論点である。主な要点は「絶対閾は検出可能な最小刺激強度を示す。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「rod-cone break」は別の論点である。主な要点は「rod-cone breakは錐体優位から杆体優位へ感度支配が移る点である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「光覚・明暗順応」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0093 視覚生理 > 光覚・明暗順応 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「暗順応曲線は二相性を示し、初期は錐体、rod-cone break以降は杆体の寄与が大きくなる。」

ア．Purkinje shift
イ．絶対閾
ウ．暗順応曲線
エ．Weberの法則の意味

0094 視覚生理 > 光覚・明暗順応 | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「rod-cone breakは錐体優位から杆体優位へ感度支配が移る点である。」

ア．rod-cone break
イ．絶対閾
ウ．瞳孔径と暗順応の関係
エ．明所視の特徴

答え・解説 正答：ウ

ア：「Purkinje shift」は別の論点である。主な要点は「暗所へ移ると感度の中心が錐体系から杆体系へ移り、短波長側が相対的に明るく感じられる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「絶対閾」は別の論点である。主な要点は「絶対閾は検出可能な最小刺激強度を示す。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「暗順応曲線」の要点を示している。暗順応曲線は二相性を示し、初期は錐体、rod-cone break以降は杆体の寄与が大きくなる。
エ：「Weberの法則の意味」は別の論点である。主な要点は「一定範囲では弁別閾は背景刺激強度に比例するという考え方である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「光覚・明暗順応」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「rod-cone break」の要点を示している。rod-cone breakは錐体優位から杆体優位へ感度支配が移る点である。
イ：「絶対閾」は別の論点である。主な要点は「絶対閾は検出可能な最小刺激強度を示す。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「瞳孔径と暗順応の関係」は別の論点である。主な要点は「散瞳は暗所で入射光量を増やすが、暗順応の大部分は網膜機序による。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「明所視の特徴」は別の論点である。主な要点は「明所では錐体が主に活動し、中心視・色覚・高解像度視に寄与する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「光覚・明暗順応」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0095

視覚生理 > 光覚・明暗順応 | 難易度：応用

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「暗所へ移ると感度の中心が錐体系から杆体系へ移り、短波長側が相対的に明るく感じられる。」

ア．杆体と錐体の感度差

イ．明所視の特徴

ウ．Purkinje shift

エ．暗順応曲線

0096

視覚生理 > 光覚・明暗順応 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「絶対閾は検出可能な最小刺激強度を示す。」

ア．杆体と錐体の感度差

イ．明所視の特徴

ウ．暗順応曲線

エ．絶対閾

答え・解説

正答：ウ

ア：「杆体と錐体の感度差」は別の論点である。主な要点は「杆体は低照度で高感度に働き、暗所視を担う。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「明所視の特徴」は別の論点である。主な要点は「明所では錐体が主に活動し、中心視・色覚・高解像度視に寄与する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「Purkinje shift」の要点を示している。暗所へ移ると感度の中心が錐体系から杆体系へ移り、短波長側が相対的に明るく感じられる。

エ：「暗順応曲線」は別の論点である。主な要点は「暗順応曲線は二相性を示し、初期は錐体、rod-cone break以降は杆体の寄与が大きくなる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「光覚・明暗順応」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「杆体と錐体の感度差」は別の論点である。主な要点は「杆体は低照度で高感度に働き、暗所視を担う。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「明所視の特徴」は別の論点である。主な要点は「明所では錐体が主に活動し、中心視・色覚・高解像度視に寄与する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「暗順応曲線」は別の論点である。主な要点は「暗順応曲線は二相性を示し、初期は錐体、rod-cone break以降は杆体の寄与が大きくなる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「絶対閾」の要点を示している。絶対閾は検出可能な最小刺激強度を示す。

総合解説：この問題は「光覚・明暗順応」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0097

視覚生理 > 光覚・明暗順応 | 難易度：基礎

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「一定範囲では弁別閾は背景刺激強度に比例するという考え方である。」

ア．絶対閾

イ．明順応

ウ．暗順応曲線

エ．Weberの法則の意味

0098

視覚生理 > 光覚・明暗順応 | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「散瞳は暗所で入射光量を増やすが、暗順応の大部分は網膜機序による。」

ア．瞳孔径と暗順応の関係

イ．Purkinje shift

ウ．絶対閾

エ．rod-cone break

答え・解説

正答：エ

ア：「絶対閾」は別の論点である。主な要点は「絶対閾は検出可能な最小刺激強度を示す。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「明順応」は別の論点である。主な要点は「明順応では光受容系が明るい環境に適応し、飽和を避けて広い輝度範囲を扱えるようになる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「暗順応曲線」は別の論点である。主な要点は「暗順応曲線は二相性を示し、初期は錐体、rod-cone break以降は杆体の寄与が大きくなる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「Weberの法則の意味」の要点を示している。一定範囲では弁別閾は背景刺激強度に比例するという考え方である。

総合解説：この問題は「光覚・明暗順応」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「瞳孔径と暗順応の関係」の要点を示している。散瞳は暗所で入射光量を増やすが、暗順応の大部分は網膜機序による。

イ：「Purkinje shift」は別の論点である。主な要点は「暗所へ移ると感度の中心が錐体系から杆体系へ移り、短波長側が相対的に明るく感じられる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「絶対閾」は別の論点である。主な要点は「絶対閾は検出可能な最小刺激強度を示す。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「rod-cone break」は別の論点である。主な要点は「rod-cone breakは錐体優位から杆体優位へ感度支配が移る点である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「光覚・明暗順応」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0099 視覚生理 > 光覚・明暗順応 | 難易度：応用

「光覚・明暗順応」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「強い前順応光は視物質を漂白し、暗所での感度回復に時間を要する。」

ア．杆体と錐体の感度差
イ．暗順応を阻害する条件
ウ．Purkinje shift
エ．絶対閾

0100 視覚生理 > 光覚・明暗順応 | 難易度：標準

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「高照度環境に適応して過剰な感度を低下させる。明順応では光受容系が明るい環境に適応し、飽和を避けて広い輝度範囲を扱えるようになる。」

ア．杆体と錐体の感度差
イ．明順応
ウ．Purkinje shift
エ．絶対閾

答え・解説 正答：イ

ア：「杆体と錐体の感度差」は別の論点である。主な要点は「杆体は低照度で高感度に働き、暗所視を担う。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「暗順応を阻害する条件」の要点を示している。強い前順応光は視物質を漂白し、暗所での感度回復に時間を要する。
ウ：「Purkinje shift」は別の論点である。主な要点は「暗所へ移ると感度の中心が錐体系から杆体系へ移り、短波長側が相対的に明るく感じられる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「絶対閾」は別の論点である。主な要点は「絶対閾は検出可能な最小刺激強度を示す。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「光覚・明暗順応」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：イ

ア：「杆体と錐体の感度差」は別の論点である。主な要点は「杆体は低照度で高感度に働き、暗所視を担う。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「明順応」の要点を示している。高照度環境に適応して過剰な感度を低下させる。明順応では光受容系が明るい環境に適応し、飽和を避けて広い輝度範囲を扱えるようになる。
ウ：「Purkinje shift」は別の論点である。主な要点は「暗所へ移ると感度の中心が錐体系から杆体系へ移り、短波長側が相対的に明るく感じられる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「絶対閾」は別の論点である。主な要点は「絶対閾は検出可能な最小刺激強度を示す。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「光覚・明暗順応」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0101 視覚生理 > 形態覚・視力・コントラスト感度 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「視力は主に空間分解能、すなわち細部を識別する能力を評価する。」

ア．視力とコントラスト感度
イ．Michelson contrastを理解
ウ．中心窩と高視力の関係
エ．最小分離閾

答え・解説 正答：エ

ア：「視力とコントラスト感度」は別の論点である。主な要点は「高コントラスト視力は良好でも、中低コントラストでの識別能力が低下している場合があり、日常視機能の把握に役立つ。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「Michelson contrastを理解」は別の論点である。主な要点は「Michelson contrastは最大輝度と最小輝度の差を和で割って表す。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「中心窩と高視力の関係」は別の論点である。主な要点は「中心窩では錐体密度が高く、細かな空間情報を保ちやすい回路構成となっている。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「最小分離閾」の要点を示している。視力は主に空間分解能、すなわち細部を識別する能力を評価する。

総合解説：この問題は「形態覚・視力・コントラスト感度」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0102 視覚生理 > 形態覚・視力・コントラスト感度 | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「logMARは最小分離角の常用対数で、小数視力1.0ではMAR=1分角、log10(1)=0となる。」

ア．コントラスト感度低下の生活影響
イ．コントラスト感度関数
ウ．小数視力とlogMARの関係を理解
エ．最小分離閾

答え・解説 正答：ウ

ア：「コントラスト感度低下の生活影響」は別の論点である。主な要点は「コントラスト感度低下は高コントラスト視標では目立たなくとも、日常の低コントラスト場面で困難を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「コントラスト感度関数」は別の論点である。主な要点は「人の視覚系は中間的な空間周波数で最も高いコントラスト感度を示す傾向がある。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「小数視力とlogMARの関係を理解」の要点を示している。logMARは最小分離角の常用対数で、小数視力1.0ではMAR=1分角、log10(1)=0となる。
エ：「最小分離閾」は別の論点である。主な要点は「視力は主に空間分解能、すなわち細部を識別する能力を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「形態覚・視力・コントラスト感度」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0103 視覚生理 > 形態覚・視力・コントラスト感度 | 難易度：応用

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「高コントラスト視力は良好でも、中低コントラストでの識別能力が低下している場合があり、日常視機能の把握に役立つ。」

ア．最小分離閾
イ．Michelson contrastを理解
ウ．空間周波数
エ．視力とコントラスト感度

0104 視覚生理 > 形態覚・視力・コントラスト感度 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「 $(L_{\max} - L_{\min}) / (L_{\max} + L_{\min})$ 。Michelson contrastは最大輝度と最小輝度の差を和で割って表す。」

ア．最小分離閾
イ．視力とコントラスト感度
ウ．Michelson contrastを理解
エ．空間周波数

答え・解説 正答：エ

ア：「最小分離閾」は別の論点である。主な要点は「視力は主に空間分解能、すなわち細部を識別する能力を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「Michelson contrastを理解」は別の論点である。主な要点は「Michelson contrastは最大輝度と最小輝度の差を和で割って表す。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「空間周波数」は別の論点である。主な要点は「空間周波数は通常cycles/degreeで表し、高周波ほど細かなパターンを意味する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「視力とコントラスト感度」の要点を示している。高コントラスト視力は良好でも、中低コントラストでの識別能力が低下している場合があり、日常視機能の把握に役立つ。

総合解説：この問題は「形態覚・視力・コントラスト感度」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：ウ

ア：「最小分離閾」は別の論点である。主な要点は「視力は主に空間分解能、すなわち細部を識別する能力を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「視力とコントラスト感度」は別の論点である。主な要点は「高コントラスト視力は良好でも、中低コントラストでの識別能力が低下している場合があり、日常視機能の把握に役立つ。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「Michelson contrastを理解」の要点を示している。 $(L_{\max} - L_{\min}) / (L_{\max} + L_{\min})$ 。Michelson contrastは最大輝度と最小輝度の差を和で割って表す。

エ：「空間周波数」は別の論点である。主な要点は「空間周波数は通常cycles/degreeで表し、高周波ほど細かなパターンを意味する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「形態覚・視力・コントラスト感度」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0105

視覚生理 > 形態覚・視力・コントラスト感度 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「空間周波数は通常cycles/degreeで表し、高周波ほど細かなパターンを意味する。」

ア．視力とコントラスト感度

イ．Michelson contrastを理解

ウ．空間周波数

エ．視力低下と光学的ぼけの関係

答え・解説

正答：ウ

ア：「視力とコントラスト感度」は別の論点である。主な要点は「高コントラスト視力は良好でも、中低コントラストでの識別能力が低下している場合があり、日常視機能の把握に役立つ。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「Michelson contrastを理解」は別の論点である。主な要点は「Michelson contrastは最大輝度と最小輝度の差を和で割って表す。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「空間周波数」の要点を示している。空間周波数は通常cycles/degreeで表し、高周波ほど細かなパターンを意味する。

エ：「視力低下と光学的ぼけの関係」は別の論点である。主な要点は「ピンホールは周辺光線を遮り焦点深度を増やすため、屈折異常によるぼけでは視力が改善しやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「形態覚・視力・コントラスト感度」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0106

視覚生理 > 形態覚・視力・コントラスト感度 | 難易度：応用

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「人の視覚系は中間的な空間周波数で最も高いコントラスト感度を示す傾向がある。」

ア．Michelson contrastを理解

イ．最小分離閾

ウ．視力検査条件の影響

エ．コントラスト感度関数

答え・解説

正答：エ

ア：「Michelson contrastを理解」は別の論点である。主な要点は「Michelson contrastは最大輝度と最小輝度の差を和で割って表す。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「最小分離閾」は別の論点である。主な要点は「視力は主に空間分解能、すなわち細部を識別する能力を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「視力検査条件の影響」は別の論点である。主な要点は「視力値は検査条件に影響されるため、標準化された条件で測定する必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「コントラスト感度関数」の要点を示している。人の視覚系は中間的な空間周波数で最も高いコントラスト感度を示す傾向がある。

総合解説：この問題は「形態覚・視力・コントラスト感度」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0107

視覚生理 > 形態覚・視力・コントラスト感度 | 難易度：標準

「形態覚・視力・コントラスト感度」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。

「中心窩では錐体密度が高く、細かな空間情報を保ちやすい回路構成となっている。」

ア．中心窩と高視力の関係
イ．最小分離閾
ウ．Michelson contrastを理解
エ．空間周波数

0108

視覚生理 > 形態覚・視力・コントラスト感度 | 難易度：基礎

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。

「視距離、視標、照明、採点法を一定にする。視力値は検査条件に影響されるため、標準化された条件で測定する必要がある。」

ア．Michelson contrastを理解
イ．コントラスト感度関数
ウ．空間周波数
エ．視力検査条件の影響

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「中心窩と高視力の関係」の要点を示している。中心窩では錐体密度が高く、細かな空間情報を保ちやすい回路構成となっている。

イ：「最小分離閾」は別の論点である。主な要点は「視力は主に空間分解能、すなわち細部を識別する能力を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「Michelson contrastを理解」は別の論点である。主な要点は「Michelson contrastは最大輝度と最小輝度の差を和で割って表す。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「空間周波数」は別の論点である。主な要点は「空間周波数は通常cycles/degreeで表し、高周波ほど細かなパターンを意味する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「形態覚・視力・コントラスト感度」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「Michelson contrastを理解」は別の論点である。主な要点は「Michelson contrastは最大輝度と最小輝度の差を和で割って表す。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「コントラスト感度関数」は別の論点である。主な要点は「人の視覚系は中間的な空間周波数で最も高いコントラスト感度を示す傾向がある。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「空間周波数」は別の論点である。主な要点は「空間周波数は通常cycles/degreeで表し、高周波ほど細かなパターンを意味する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「視力検査条件の影響」の要点を示している。視距離、視標、照明、採点法を一定にする。視力値は検査条件に影響されるため、標準化された条件で測定する必要がある。

総合解説：この問題は「形態覚・視力・コントラスト感度」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0109 視覚生理 > 形態覚・視力・コントラスト感度 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「ピンホールは周辺光線を遮り焦点深度を増やすため、屈折異常によるぼけでは視力が改善しやすい。」

ア．視力低下と光学的ぼけの関係
イ．最小分離閾
ウ．Michelson contrastを理解
エ．空間周波数

0110 視覚生理 > 形態覚・視力・コントラスト感度 | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「コントラスト感度低下は高コントラスト視標では目立たなくても、日常の低コントラスト場面で困難を生じる。」

ア．Michelson contrastを理解
イ．コントラスト感度低下の生活影響
ウ．最小分離閾
エ．空間周波数

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「視力低下と光学的ぼけの関係」の要点を示している。ピンホールは周辺光線を遮り焦点深度を増やすため、屈折異常によるぼけでは視力が改善しやすい。
イ：「最小分離閾」は別の論点である。主な要点は「視力は主に空間分解能、すなわち細部を識別する能力を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「Michelson contrastを理解」は別の論点である。主な要点は「Michelson contrastは最大輝度と最小輝度の差を和で割って表す。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「空間周波数」は別の論点である。主な要点は「空間周波数は通常cycles/degreeで表し、高周波ほど細かなパターンを意味する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「形態覚・視力・コントラスト感度」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：イ

ア：「Michelson contrastを理解」は別の論点である。主な要点は「Michelson contrastは最大輝度と最小輝度の差を和で割って表す。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「コントラスト感度低下の生活影響」の要点を示している。コントラスト感度低下は高コントラスト視標では目立たなくても、日常の低コントラスト場面で困難を生じる。
ウ：「最小分離閾」は別の論点である。主な要点は「視力は主に空間分解能、すなわち細部を識別する能力を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「空間周波数」は別の論点である。主な要点は「空間周波数は通常cycles/degreeで表し、高周波ほど細かなパターンを意味する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「形態覚・視力・コントラスト感度」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0111

視覚生理 > 色覚・視野・CFF・電気生理 | 難易度：標準

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。
「人の色覚は長・中・短波長域に感度ピークをもつ3種類の錐体入力を基礎とする。」

ア．静的視野検査の原理

イ．CFFに影響する因子

ウ．ERGの明暗順応条件

エ．三色型色覚

答え・解説

正答：エ

ア：「静的視野検査の原理」は別の論点である。主な要点は「静的視野では位置を固定し、刺激輝度を変えて各点の閾値を測定する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「CFFに影響する因子」は別の論点である。主な要点は「CFFは刺激の明るさ・サイズや環境、注意・疲労など複数要因の影響を受ける。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「ERGの明暗順応条件」は別の論点である。主な要点は「全視野ERGでは暗順応条件で杆体系、明順応条件で錐体系の応答を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「三色型色覚」の要点を示している。人の色覚は長・中・短波長域に感度ピークをもつ3種類の錐体入力を基礎とする。

総合解説：この問題は「色覚・視野・CFF・電気生理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0112

視覚生理 > 色覚・視野・CFF・電気生理 | 難易度：基礎

この説明が扱う中心論点として最も適切なものはどれか。
「赤—緑、青—黄。網膜・中枢では錐体信号が反対色チャンネルとして処理される。」

ア．生理的盲点

イ．静的視野検査の原理

ウ．反対色過程

エ．動的視野検査の原理

答え・解説

正答：ウ

ア：「生理的盲点」は別の論点である。主な要点は「視神経乳頭は神経節細胞軸索が眼球外へ出る部位で、光受容体がないため視野上の盲点となる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「静的視野検査の原理」は別の論点である。主な要点は「静的視野では位置を固定し、刺激輝度を変えて各点の閾値を測定する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「反対色過程」の要点を示している。赤—緑、青—黄。網膜・中枢では錐体信号が反対色チャンネルとして処理される。

エ：「動的視野検査の原理」は別の論点である。主な要点は「動的視野では同一視標を移動させ、同じ感度境界となる点を結んでisopterを作る。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「色覚・視野・CFF・電気生理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0113 視覚生理 > 色覚・視野・CFF・電気生理 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なものはどれか。
「視神経乳頭は神経節細胞軸索が眼球外へ出る部位で、光受容体がないため視野上の盲点となる。」

ア．反対色過程
イ．CFFに影響する因子
ウ．VEPとERG
エ．生理的盲点

0114 視覚生理 > 色覚・視野・CFF・電気生理 | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なものはどれか。
「静的視野では位置を固定し、刺激輝度を変えて各点の閾値を測定する。」

ア．三色型色覚
イ．反対色過程
ウ．静的視野検査の原理
エ．VEPとERG

答え・解説 正答：エ

ア：「反対色過程」は別の論点である。主な要点は「網膜・中枢では錐体信号が反対色チャネルとして処理される。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「CFFに影響する因子」は別の論点である。主な要点は「CFFは刺激の明るさ・サイズや環境、注意・疲労など複数要因の影響を受ける。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「VEPとERG」は別の論点である。主な要点は「VEPは視覚刺激に対する後頭部電位を記録し、視神経以降の視覚伝導評価に用いる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「生理的盲点」の要点を示している。視神経乳頭は神経節細胞軸索が眼球外へ出る部位で、光受容体がないため視野上の盲点となる。

総合解説：この問題は「色覚・視野・CFF・電気生理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：ウ

ア：「三色型色覚」は別の論点である。主な要点は「人の色覚は長・中・短波長域に感度ピークをもつ3種類の錐体入力为基础とする。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「反対色過程」は別の論点である。主な要点は「網膜・中枢では錐体信号が反対色チャネルとして処理される。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「静的視野検査の原理」の要点を示している。静的視野では位置を固定し、刺激輝度を変えて各点の閾値を測定する。
エ：「VEPとERG」は別の論点である。主な要点は「VEPは視覚刺激に対する後頭部電位を記録し、視神経以降の視覚伝導評価に用いる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「色覚・視野・CFF・電気生理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0115 視覚生理 > 色覚・視野・CFF・電気生理 | 難易度：基礎

「色覚・視野・CFF・電気生理」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。「動的視野では同一視標を移動させ、同じ感度境界となる点を結んでisopterを作る。」

ア．反対色過程
イ．VEPとERG
ウ．動的視野検査の原理
エ．三色型色覚

0116 視覚生理 > 色覚・視野・CFF・電気生理 | 難易度：応用

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。「点滅光が連続光として融合して見える境界の周波数。CFFはちらつき知覚が消失して連続光に見える境界周波数で、視覚の時間分解能を反映する。」

ア．CFFを定義
イ．反対色過程
ウ．ERGの明暗順応条件
エ．VEPとERG

答え・解説 正答：ウ

ア：「反対色過程」は別の論点である。主な要点は「網膜・中枢では錐体信号が反対色チャネルとして処理される。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「VEPとERG」は別の論点である。主な要点は「VEPは視覚刺激に対する後頭部電位を記録し、視神経以降の視覚伝導評価に用いる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「動的視野検査の原理」の要点を示している。動的視野では同一視標を移動させ、同じ感度境界となる点を結んでisopterを作る。
エ：「三色型色覚」は別の論点である。主な要点は「人の色覚は長・中・短波長域に感度ピークをもつ3種類の錐体入力为基础とする。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「色覚・視野・CFF・電気生理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「CFFを定義」の要点を示している。点滅光が連続光として融合して見える境界の周波数。CFFはちらつき知覚が消失して連続光に見える境界周波数で、視覚の時間分解能を反映する。
イ：「反対色過程」は別の論点である。主な要点は「網膜・中枢では錐体信号が反対色チャネルとして処理される。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「ERGの明暗順応条件」は別の論点である。主な要点は「全視野ERGでは暗順応条件で杆体系、明順応条件で錐体系の応答を評価する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「VEPとERG」は別の論点である。主な要点は「VEPは視覚刺激に対する後頭部電位を記録し、視神経以降の視覚伝導評価に用いる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「色覚・視野・CFF・電気生理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0117 視覚生理 > 色覚・視野・CFF・電気生理 | 難易度：基礎

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「CFFは刺激の明るさ・サイズや環境、注意・疲労など複数要因の影響を受ける。」

ア．三色型色覚
イ．CFFに影響する因子
ウ．反対色過程
エ．生理的盲点

0118 視覚生理 > 色覚・視野・CFF・電気生理 | 難易度：応用

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「a波は主に杆体・錐体の光受容体活動に由来する初期の負成分である。」

ア．ERGのa波とb波の概念
イ．反対色過程
ウ．CFFに影響する因子
エ．生理的盲点

答え・解説 正答：イ

ア：「三色型色覚」は別の論点である。主な要点は「人の色覚は長・中・短波長域に感度ピークをもつ3種類の錐体入力为基础とする。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「CFFに影響する因子」の要点を示している。CFFは刺激の明るさ・サイズや環境、注意・疲労など複数要因の影響を受ける。
ウ：「反対色過程」は別の論点である。主な要点は「網膜・中枢では錐体信号が反対色チャネルとして処理される。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「生理的盲点」は別の論点である。主な要点は「視神経乳頭は神経節細胞軸索が眼球外へ出る部位で、光受容体がないため視野上の盲点となる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「色覚・視野・CFF・電気生理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「ERGのa波とb波の概念」の要点を示している。a波は主に杆体・錐体の光受容体活動に由来する初期の負成分である。
イ：「反対色過程」は別の論点である。主な要点は「網膜・中枢では錐体信号が反対色チャネルとして処理される。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「CFFに影響する因子」は別の論点である。主な要点は「CFFは刺激の明るさ・サイズや環境、注意・疲労など複数要因の影響を受ける。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「生理的盲点」は別の論点である。主な要点は「視神経乳頭は神経節細胞軸索が眼球外へ出る部位で、光受容体がないため視野上の盲点となる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「色覚・視野・CFF・電気生理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0119

視覚生理 > 色覚・視野・CFF・電気生理 | 難易度：標準

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。
「全視野ERGでは暗順応条件で杆体系、明順応条件で錐体系の応答を評価する。」

ア．三色型色覚

イ．ERGの明暗順応条件

ウ．反対色過程

エ．CFFを定義

0120

視覚生理 > 色覚・視野・CFF・電気生理 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「VEPは視覚刺激に対する後頭部電位を記録し、視神経以降の視覚伝導評価に用いる。」

ア．VEPとERG

イ．三色型色覚

ウ．反対色過程

エ．生理的盲点

答え・解説

正答：イ

ア：「三色型色覚」は別の論点である。主な要点は「人の色覚は長・中・短波長域に感度ピークをもつ3種類の錐体入力を基礎とする。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「ERGの明暗順応条件」の要点を示している。全視野ERGでは暗順応条件で杆体系、明順応条件で錐体系の応答を評価する。

ウ：「反対色過程」は別の論点である。主な要点は「網膜・中枢では錐体信号が反対色チャンネルとして処理される。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「CFFを定義」は別の論点である。主な要点は「CFFはちらつき知覚が消失して連続光に見える境界周波数で、視覚の時間分解能を反映する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「色覚・視野・CFF・電気生理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「VEPとERG」の要点を示している。VEPは視覚刺激に対する後頭部電位を記録し、視神経以降の視覚伝導評価に用いる。

イ：「三色型色覚」は別の論点である。主な要点は「人の色覚は長・中・短波長域に感度ピークをもつ3種類の錐体入力を基礎とする。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「反対色過程」は別の論点である。主な要点は「網膜・中枢では錐体信号が反対色チャンネルとして処理される。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「生理的盲点」は別の論点である。主な要点は「視神経乳頭は神経節細胞軸索が眼球外へ出る部位で、光受容体がないため視野上の盲点となる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「色覚・視野・CFF・電気生理」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0121生理光学・屈折矯正 > 幾何光学・波動光学・レンズ・プリズム | 難易度：応用

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「屈折率は $n=c/v$ で表され、媒質中で光がどの程度遅く進むかを示す。」

ア．屈折率

イ．Snellの法則

ウ．凸レンズと凹レンズの作用

エ．プリズムジオプトリ

答え・解説正答：ア

ア：この説明は「屈折率」の要点を示している。屈折率は $n=c/v$ で表され、媒質中で光がどの程度遅く進むかを示す。

イ：「Snellの法則」は別の論点である。主な要点は「異なる媒質境界での入射角と屈折角は屈折率を介してSnellの法則に従う。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「凸レンズと凹レンズの作用」は別の論点である。主な要点は「凸レンズは正の屈折力をもち、平行光線を実焦点へ収束させる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「プリズムジオプトリ」は別の論点である。主な要点は「1プリズムジオプトリは1 mで1 cmの偏位を生じるプリズム度数である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「幾何光学・波動光学・レンズ・プリズム」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0122生理光学・屈折矯正 > 幾何光学・波動光学・レンズ・プリズム | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「異なる媒質境界での入射角と屈折角は屈折率を介してSnellの法則に従う。」

ア．Snellの法則

イ．屈折率

ウ．球面収差

エ．色収差

答え・解説正答：ア

ア：この説明は「Snellの法則」の要点を示している。異なる媒質境界での入射角と屈折角は屈折率を介してSnellの法則に従う。

イ：「屈折率」は別の論点である。主な要点は「屈折率は $n=c/v$ で表され、媒質中で光がどの程度遅く進むかを示す。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「球面収差」は別の論点である。主な要点は「球面レンズでは周辺光線と近軸光線の焦点位置が異なり、像のぼけを生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「色収差」は別の論点である。主な要点は「一般に短波長光と長波長光で屈折の程度が異なるため、焦点位置に差が生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「幾何光学・波動光学・レンズ・プリズム」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0123 生理光学・屈折矯正 > 幾何光学・波動光学・レンズ・プリズム | 難易度：基礎

「幾何光学・波動光学・レンズ・プリズム」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「屈折力Dは焦点距離[m]の逆数で、1/0.50=2.0 Dとなる。」

ア．球面収差
イ．レンズ屈折力と焦点距離の関係
ウ．色収差
エ．Prenticeの法則を適用

0124 生理光学・屈折矯正 > 幾何光学・波動光学・レンズ・プリズム | 難易度：基礎

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「凸レンズは正の屈折力を持ち、平行光線を実焦点へ収束させる。」

ア．屈折率
イ．球面収差
ウ．色収差
エ．凸レンズと凹レンズの作用

答え・解説 正答：イ

ア：「球面収差」は別の論点である。主要点は「球面レンズでは周辺光線と近軸光線の焦点位置が異なり、像のぼけを生じる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「レンズ屈折力と焦点距離の関係」の要点を示している。屈折力Dは焦点距離[m]の逆数で、1/0.50=2.0 Dとなる。
ウ：「色収差」は別の論点である。主要点は「一般に短波長光と長波長光で屈折の程度が異なるため、焦点位置に差が生じる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「Prenticeの法則を適用」は別の論点である。主要点は「Prenticeの法則P=cFで、c=1 cm、F=5 DよりP=5 となる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「幾何光学・波動光学・レンズ・プリズム」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：エ

ア：「屈折率」は別の論点である。主要点は「屈折率は $n=c/v$ で表され、媒質中で光がどの程度遅く進むかを示す。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「球面収差」は別の論点である。主要点は「球面レンズでは周辺光線と近軸光線の焦点位置が異なり、像のぼけを生じる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「色収差」は別の論点である。主要点は「一般に短波長光と長波長光で屈折の程度が異なるため、焦点位置に差が生じる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「凸レンズと凹レンズの作用」の要点を示している。凸レンズは正の屈折力を持ち、平行光線を実焦点へ収束させる。

総合解説：この問題は「幾何光学・波動光学・レンズ・プリズム」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0125

生理光学・屈折矯正 > 幾何光学・波動光学・レンズ・プリズム | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「光線はプリズムの基底側へ屈折し、物体の見かけの像は頂点側へ移る。」

ア．球面収差
イ．色収差
ウ．屈折率
エ．プリズムの光偏向

答え・解説

正答：エ

ア：「球面収差」は別の論点である。主な要点は「球面レンズでは周辺光線と近軸光線の焦点位置が異なり、像のぼけを生じる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「色収差」は別の論点である。主な要点は「一般に短波長光と長波長光で屈折の程度が異なるため、焦点位置に差が生じる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「屈折率」は別の論点である。主な要点は「屈折率は $n=c/v$ で表され、媒質中で光がどの程度遅く進むかを示す。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「プリズムの光偏向」の要点を示している。光線はプリズムの基底側へ屈折し、物体の見かけの像は頂点側へ移る。

総合解説：この問題は「幾何光学・波動光学・レンズ・プリズム」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0126

生理光学・屈折矯正 > 幾何光学・波動光学・レンズ・プリズム | 難易度：標準

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「1プリズムジオプトリは1 mで1 cmの偏位を生じるプリズム度数である。」

ア．プリズムジオプトリ
イ．屈折率
ウ．球面収差
エ．色収差

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「プリズムジオプトリ」の要点を示している。1プリズムジオプトリは1 mで1 cmの偏位を生じるプリズム度数である。
イ：「屈折率」は別の論点である。主な要点は「屈折率は $n=c/v$ で表され、媒質中で光がどの程度遅く進むかを示す。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「球面収差」は別の論点である。主な要点は「球面レンズでは周辺光線と近軸光線の焦点位置が異なり、像のぼけを生じる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「色収差」は別の論点である。主な要点は「一般に短波長光と長波長光で屈折の程度が異なるため、焦点位置に差が生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「幾何光学・波動光学・レンズ・プリズム」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0127 生理光学・屈折矯正 > 幾何光学・波動光学・レンズ・プリズム | 難易度：標準

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。
「Prenticeの法則 $P=cF$ で、 $c=1\text{ cm}$ 、 $F=5\text{ D}$ より $P=5$ となる。」

ア．屈折率

イ．Prenticeの法則を適用

ウ．球面収差

エ．色収差

答え・解説 正答：イ

ア：「屈折率」は別の論点である。主な要点は「屈折率は $n=c/v$ で表され、媒質中で光がどの程度遅く進むかを示す。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「Prenticeの法則を適用」の要点を示している。Prenticeの法則 $P=cF$ で、 $c=1\text{ cm}$ 、 $F=5\text{ D}$ より $P=5$ となる。

ウ：「球面収差」は別の論点である。主な要点は「球面レンズでは周辺光線と近軸光線の焦点位置が異なり、像のぼけを生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「色収差」は別の論点である。主な要点は「一般に短波長光と長波長光で屈折の程度が異なるため、焦点位置に差が生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「幾何光学・波動光学・レンズ・プリズム」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0128 生理光学・屈折矯正 > 幾何光学・波動光学・レンズ・プリズム | 難易度：基礎

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「光軸近傍と周辺を通る光線が同一点に結像しない現象。球面レンズでは周辺光線と近軸光線の焦点位置が異なり、像のぼけを生じる。」

ア．Snellの法則

イ．球面収差

ウ．レンズ屈折力と焦点距離の関係

エ．凸レンズと凹レンズの作用

答え・解説 正答：イ

ア：「Snellの法則」は別の論点である。主な要点は「異なる媒質境界での入射角と屈折角は屈折率を介してSnellの法則に従う。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「球面収差」の要点を示している。光軸近傍と周辺を通る光線が同一点に結像しない現象。球面レンズでは周辺光線と近軸光線の焦点位置が異なり、像のぼけを生じる。

ウ：「レンズ屈折力と焦点距離の関係」は別の論点である。主な要点は「屈折力Dは焦点距離[m]の逆数で、 $1/0.50=2.0\text{ D}$ となる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「凸レンズと凹レンズの作用」は別の論点である。主な要点は「凸レンズは正の屈折力を持ち、平行光線を実焦点へ収束させる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「幾何光学・波動光学・レンズ・プリズム」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0129 生理光学・屈折矯正 > 幾何光学・波動光学・レンズ・プリズム | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「一般に短波長光と長波長光で屈折の程度が異なるため、焦点位置に差が生じる。」

ア．Snellの法則
イ．色収差
ウ．レンズ屈折力と焦点距離の関係
エ．凸レンズと凹レンズの作用

0130 生理光学・屈折矯正 > 幾何光学・波動光学・レンズ・プリズム | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「開口が小さすぎると光の波動性による回折が増え、像の広がりが大きくなる。」

ア．Snellの法則
イ．凸レンズと凹レンズの作用
ウ．回折限界
エ．プリズムジオプトリ

答え・解説 正答：イ

ア：「Snellの法則」は別の論点である。主な要点は「異なる媒質境界での入射角と屈折角は屈折率を介してSnellの法則に従う。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「色収差」の要点を示している。一般に短波長光と長波長光で屈折の程度が異なるため、焦点位置に差が生じる。
ウ：「レンズ屈折力と焦点距離の関係」は別の論点である。主な要点は「屈折力Dは焦点距離[m]の逆数で、1/0.50=2.0 Dとなる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「凸レンズと凹レンズの作用」は別の論点である。主な要点は「凸レンズは正の屈折力を持ち、平行光線を実焦点へ収束させる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「幾何光学・波動光学・レンズ・プリズム」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：ウ

ア：「Snellの法則」は別の論点である。主な要点は「異なる媒質境界での入射角と屈折角は屈折率を介してSnellの法則に従う。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「凸レンズと凹レンズの作用」は別の論点である。主な要点は「凸レンズは正の屈折力を持ち、平行光線を実焦点へ収束させる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「回折限界」の要点を示している。開口が小さすぎると光の波動性による回折が増え、像の広がりが大きくなる。
エ：「プリズムジオプトリ」は別の論点である。主な要点は「1プリズムジオプトリは1 mで1 cmの偏位を生じるプリズム度数である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「幾何光学・波動光学・レンズ・プリズム」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0131

生理光学・屈折矯正 > 幾何光学・波動光学・レンズ・プリズム | 難易度：基礎

「幾何光学・波動光学・レンズ・プリズム」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「密着した薄レンズの合成度数は代数和で求め、+2.00 - 0.50=+1.50 Dである。」

ア．薄レンズの合成度数
イ．屈折率
ウ．球面収差
エ．色収差

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「薄レンズの合成度数」の要点を示している。密着した薄レンズの合成度数は代数和で求め、+2.00 - 0.50=+1.50 Dである。
イ：「屈折率」は別の論点である。主な要点は「屈折率は $n=c/v$ で表され、媒質中で光がどの程度遅く進むかを示す。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「球面収差」は別の論点である。主な要点は「球面レンズでは周辺光線と近軸光線の焦点位置が異なり、像のぼけを生じる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「色収差」は別の論点である。主な要点は「一般に短波長光と長波長光で屈折の程度が異なるため、焦点位置に差が生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「幾何光学・波動光学・レンズ・プリズム」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0132

生理光学・屈折矯正 > 幾何光学・波動光学・レンズ・プリズム | 難易度：応用

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「レンズ材料の屈折率と前後面の曲率。薄レンズの屈折力は主にレンズ材料と表面曲率で決まる。」

ア．球面収差
イ．回折限界
ウ．レンズメーカー式の意味
エ．屈折率

答え・解説

正答：ウ

ア：「球面収差」は別の論点である。主な要点は「球面レンズでは周辺光線と近軸光線の焦点位置が異なり、像のぼけを生じる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「回折限界」は別の論点である。主な要点は「開口が小さすぎると光の波動性による回折が増え、像の広がりが大きくなる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「レンズメーカー式の意味」の要点を示している。レンズ材料の屈折率と前後面の曲率。薄レンズの屈折力は主にレンズ材料と表面曲率で決まる。
エ：「屈折率」は別の論点である。主な要点は「屈折率は $n=c/v$ で表され、媒質中で光がどの程度遅く進むかを示す。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「幾何光学・波動光学・レンズ・プリズム」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0133

生理光学・屈折矯正 > 屈折・調節異常 | 難易度：応用

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「正視では調節休止時に平行光線が網膜上へ結像する。」

ア．調節麻痺下屈折の意義

イ．軸性近視と屈折性近視

ウ．調節近点を理解

エ．正視を定義

答え・解説

正答：エ

ア：「調節麻痺下屈折の意義」は別の論点である。主な要点は「小児は調節力が強く、非調節麻痺下では屈折値が調節の影響を受けやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「軸性近視と屈折性近視」は別の論点である。主な要点は「軸性近視では眼軸長が長いため、平行光線の焦点が網膜前方に位置する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「調節近点を理解」は別の論点である。主な要点は「近点距離[m]は調節力の逆数で、 $1/5=0.20\text{ m}=20\text{ cm}$ となる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「正視を定義」の要点を示している。正視では調節休止時に平行光線が網膜上へ結像する。

総合解説：この問題は「屈折・調節異常」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0134

生理光学・屈折矯正 > 屈折・調節異常 | 難易度：応用

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「近視では眼の屈折力が眼軸長に対して強すぎるため、平行光線は網膜より前で焦点を結ぶ。」

ア．調節麻痺下屈折の意義

イ．調節近点を理解

ウ．潜伏遠視

エ．近視

答え・解説

正答：エ

ア：「調節麻痺下屈折の意義」は別の論点である。主な要点は「小児は調節力が強く、非調節麻痺下では屈折値が調節の影響を受けやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「調節近点を理解」は別の論点である。主な要点は「近点距離[m]は調節力の逆数で、 $1/5=0.20\text{ m}=20\text{ cm}$ となる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「潜伏遠視」は別の論点である。主な要点は「若年者では調節力により遠視が隠されることがあり、調節麻痺で顕在化する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「近視」の要点を示している。近視では眼の屈折力が眼軸長に対して強すぎるため、平行光線は網膜より前で焦点を結ぶ。

総合解説：この問題は「屈折・調節異常」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0135

生理光学・屈折矯正 > 屈折・調節異常 | 難易度：標準

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。
「遠視では眼の屈折力が眼軸長に対して弱く、調節休止時には焦点が網膜後方となる。」

ア．調節近点を理解

イ．調節麻痺下屈折の意義

ウ．軸性近視と屈折性近視

エ．遠視

0136

生理光学・屈折矯正 > 屈折・調節異常 | 難易度：基礎

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「主経線によって屈折力が異なり、一点に焦点を結ばない。乱視では互いに直交する主経線の屈折力が異なり、焦線が形成される。」

ア．調節近点を理解

イ．乱視

ウ．調節麻痺下屈折の意義

エ．軸性近視と屈折性近視

答え・解説

正答：エ

ア：「調節近点を理解」は別の論点である。主な要点は「近点距離[m]は調節力の逆数で、 $1/5=0.20\text{ m}=20\text{ cm}$ となる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「調節麻痺下屈折の意義」は別の論点である。主な要点は「小児は調節力が強く、非調節麻痺下では屈折値が調節の影響を受けやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「軸性近視と屈折性近視」は別の論点である。主な要点は「軸性近視では眼軸長が長いため、平行光線の焦点が網膜前方に位置する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「遠視」の要点を示している。遠視では眼の屈折力が眼軸長に対して弱く、調節休止時には焦点が網膜後方となる。

総合解説：この問題は「屈折・調節異常」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：イ

ア：「調節近点を理解」は別の論点である。主な要点は「近点距離[m]は調節力の逆数で、 $1/5=0.20\text{ m}=20\text{ cm}$ となる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「乱視」の要点を示している。主経線によって屈折力が異なり、一点に焦点を結ばない。乱視では互いに直交する主経線の屈折力が異なり、焦線が形成される。

ウ：「調節麻痺下屈折の意義」は別の論点である。主な要点は「小児は調節力が強く、非調節麻痺下では屈折値が調節の影響を受けやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「軸性近視と屈折性近視」は別の論点である。主な要点は「軸性近視では眼軸長が長いため、平行光線の焦点が網膜前方に位置する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「屈折・調節異常」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0137 生理学・屈折矯正 > 屈折・調節異常 | 難易度：基礎

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「加齢により水晶体の弾性などが低下し、近見に必要な調節力が不足する。」

ア．調節近点を理解
イ．老視
ウ．調節麻痺下屈折の意義
エ．軸性近視と屈折性近視

答え・解説 正答：イ

ア：「調節近点を理解」は別の論点である。主な要点は「近点距離[m]は調節力の逆数で、 $1/5=0.20\text{ m}=20\text{ cm}$ となる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「老視」の要点を示している。加齢により水晶体の弾性などが低下し、近見に必要な調節力が不足する。

ウ：「調節麻痺下屈折の意義」は別の論点である。主な要点は「小児は調節力が強く、非調節麻痺下では屈折値が調節の影響を受けやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「軸性近視と屈折性近視」は別の論点である。主な要点は「軸性近視では眼軸長が長いため、平行光線の焦点が網膜前方に位置する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「屈折・調節異常」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0138 生理学・屈折矯正 > 屈折・調節異常 | 難易度：基礎

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「近点距離[m]は調節力の逆数で、 $1/5=0.20\text{ m}=20\text{ cm}$ となる。」

ア．遠視
イ．乱視
ウ．調節近点を理解
エ．老視

答え・解説 正答：ウ

ア：「遠視」は別の論点である。主な要点は「遠視では眼の屈折力が眼軸長に対して弱く、調節休止時には焦点が網膜後方となる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「乱視」は別の論点である。主な要点は「乱視では互いに直交する主経線の屈折力が異なり、焦線が形成される。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「調節近点を理解」の要点を示している。近点距離[m]は調節力の逆数で、 $1/5=0.20\text{ m}=20\text{ cm}$ となる。

エ：「老視」は別の論点である。主な要点は「加齢により水晶体の弾性などが低下し、近見に必要な調節力が不足する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「屈折・調節異常」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0139

生理光学・屈折矯正 > 屈折・調節異常 | 難易度：標準

「屈折・調節異常」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「小児は調節力が強く、非調節麻痺下では屈折値が調節の影響を受けやすい。」

ア．近視

イ．遠視

ウ．調節麻痺下屈折の意義

エ．老視

0140

生理光学・屈折矯正 > 屈折・調節異常 | 難易度：標準

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「調節によって遠視の一部が補われているため。若年者では調節力により遠視が隠されることがあり、調節麻痺で顕在化する。」

ア．調節近点を理解

イ．調節麻痺下屈折の意義

ウ．軸性近視と屈折性近視

エ．潜伏遠視

答え・解説

正答：ウ

ア：「近視」は別の論点である。主な要点は「近視では眼の屈折力が眼軸長に対して強すぎるため、平行光線は網膜より前で焦点を結ぶ。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「遠視」は別の論点である。主な要点は「遠視では眼の屈折力が眼軸長に対して弱く、調節休止時には焦点が網膜後方となる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「調節麻痺下屈折の意義」の要点を示している。小児は調節力が強く、非調節麻痺下では屈折値が調節の影響を受けやすい。

エ：「老視」は別の論点である。主な要点は「加齢により水晶体の弾性などが低下し、近見に必要な調節力が不足する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「屈折・調節異常」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「調節近点を理解」は別の論点である。主な要点は「近点距離[m]は調節力の逆数で、 $1/5=0.20\text{ m}=20\text{ cm}$ となる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「調節麻痺下屈折の意義」は別の論点である。主な要点は「小児は調節力が強く、非調節麻痺下では屈折値が調節の影響を受けやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「軸性近視と屈折性近視」は別の論点である。主な要点は「軸性近視では眼軸長が長いため、平行光線の焦点が網膜前方に位置する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「潜伏遠視」の要点を示している。調節によって遠視の一部が補われているため。若年者では調節力により遠視が隠されることがあり、調節麻痺で顕在化する。

総合解説：この問題は「屈折・調節異常」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0141

生理学・屈折矯正 > 屈折・調節異常 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「過剰な調節により一時的に近視側へ測定され、調節麻痺でその成分が除かれることがある。」

ア．調節麻痺下屈折の意義
イ．調節近点を理解
ウ．偽近視
エ．正視を定義

答え・解説

正答：ウ

ア：「調節麻痺下屈折の意義」は別の論点である。主な要点は「小児は調節力が強く、非調節麻痺下では屈折値が調節の影響を受けやすい。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「調節近点を理解」は別の論点である。主な要点は「近点距離[m]は調節力の逆数で、 $1/5=0.20\text{ m}=20\text{ cm}$ となる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「偽近視」の要点を示している。過剰な調節により一時的に近視側へ測定され、調節麻痺でその成分が除かれることがある。
エ：「正視を定義」は別の論点である。主な要点は「正視では調節休止時に平行光線が網膜上へ結像する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「屈折・調節異常」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0142

生理学・屈折矯正 > 屈折・調節異常 | 難易度：標準

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「軸性近視では眼軸長が長いため、平行光線の焦点が網膜前方に位置する。」

ア．調節近点を理解
イ．正視を定義
ウ．老視
エ．軸性近視と屈折性近視

答え・解説

正答：エ

ア：「調節近点を理解」は別の論点である。主な要点は「近点距離[m]は調節力の逆数で、 $1/5=0.20\text{ m}=20\text{ cm}$ となる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「正視を定義」は別の論点である。主な要点は「正視では調節休止時に平行光線が網膜上へ結像する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「老視」は別の論点である。主な要点は「加齢により水晶体の弾性などが低下し、近見に必要な調節力が不足する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「軸性近視と屈折性近視」の要点を示している。軸性近視では眼軸長が長いため、平行光線の焦点が網膜前方に位置する。

総合解説：この問題は「屈折・調節異常」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0143 生理光学・屈折矯正 > 眼鏡・コンタクトレンズ・屈折矯正・計算 | 難易度：標準

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。
「近視眼では平行光線が網膜前方に焦点を結ぶため、発散レンズで眼へ入る光束の収束を弱める。」

- ア．高不同視でコンタクトレンズが有利な理由
- イ．近視の眼鏡矯正
- ウ．円柱レンズの作用
- エ．コンタクトレンズの酸素透過

答え・解説 正答：イ

ア：「高不同視でコンタクトレンズが有利な理由」は別の論点である。主な要点は「コンタクトレンズは角膜近くに位置するため、高不同視で眼鏡より不等像視を軽減できることがある。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「近視の眼鏡矯正」の要点を示している。近視眼では平行光線が網膜前方に焦点を結ぶため、発散レンズで眼へ入る光束の収束を弱める。
ウ：「円柱レンズの作用」は別の論点である。主な要点は「円柱レンズは一方方向だけに屈折力をもち、正乱視の主経線差を補正する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「コンタクトレンズの酸素透過」は別の論点である。主な要点は「Dkは材料の酸素透過係数、Dk/tは実際のレンズ厚を考慮した酸素透過性の指標である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼鏡・コンタクトレンズ・屈折矯正・計算」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0144 生理光学・屈折矯正 > 眼鏡・コンタクトレンズ・屈折矯正・計算 | 難易度：応用

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「凸レンズ（プラスレンズ）。遠視眼では焦点が網膜後方に位置するため、収束レンズで光学系の屈折力を補う。」

- ア．遠視の眼鏡矯正
- イ．高不同視でコンタクトレンズが有利な理由
- ウ．円柱レンズの作用
- エ．コンタクトレンズの酸素透過

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「遠視の眼鏡矯正」の要点を示している。凸レンズ（プラスレンズ）。遠視眼では焦点が網膜後方に位置するため、収束レンズで光学系の屈折力を補う。
イ：「高不同視でコンタクトレンズが有利な理由」は別の論点である。主な要点は「コンタクトレンズは角膜近くに位置するため、高不同視で眼鏡より不等像視を軽減できることがある。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「円柱レンズの作用」は別の論点である。主な要点は「円柱レンズは一方方向だけに屈折力をもち、正乱視の主経線差を補正する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「コンタクトレンズの酸素透過」は別の論点である。主な要点は「Dkは材料の酸素透過係数、Dk/tは実際のレンズ厚を考慮した酸素透過性の指標である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼鏡・コンタクトレンズ・屈折矯正・計算」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0145

生理光学・屈折矯正 > 眼鏡・コンタクトレンズ・屈折矯正・計算 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「円柱レンズは一方向だけに屈折力をもち、正乱視の主経線差を補正する。」

ア．近視の眼鏡矯正
イ．円柱レンズの作用
ウ．遠視の眼鏡矯正
エ．頂点間距離の影響

答え・解説

正答：イ

ア：「近視の眼鏡矯正」は別の論点である。主な要点は「近視眼では平行光線が網膜前方に焦点を結ぶため、発散レンズで眼へ入る光束の収束を弱める。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「円柱レンズの作用」の要点を示している。円柱レンズは一方向だけに屈折力をもち、正乱視の主経線差を補正する。
ウ：「遠視の眼鏡矯正」は別の論点である。主な要点は「遠視眼では焦点が網膜後方に位置するため、収束レンズで光学系の屈折力を補う。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「頂点間距離の影響」は別の論点である。主な要点は「マイナスレンズを眼から遠ざけると眼位置での有効なマイナス度数は弱くなる方向に変化する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼鏡・コンタクトレンズ・屈折矯正・計算」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0146

生理光学・屈折矯正 > 眼鏡・コンタクトレンズ・屈折矯正・計算 | 難易度：基礎

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「マイナスレンズを眼から遠ざけると眼位置での有効なマイナス度数は弱くなる方向に変化する。」

ア．高不同視でコンタクトレンズが有利な理由
イ．眼鏡レンズの偏心によるプリズム効果
ウ．コンタクトレンズの涙液レンズ効果
エ．頂点間距離の影響

答え・解説

正答：エ

ア：「高不同視でコンタクトレンズが有利な理由」は別の論点である。主な要点は「コンタクトレンズは角膜近くに位置するため、高不同視で眼鏡より不等像視を軽減できることがある。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「眼鏡レンズの偏心によるプリズム効果」は別の論点である。主な要点は「Prenticeの法則 $P=cF$ で、 $5\text{ mm}=0.5\text{ cm}$ 、 $0.5\times4=2$ となる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「コンタクトレンズの涙液レンズ効果」は別の論点である。主な要点は「RGPレンズ下の涙液層が角膜不整を埋め、より規則的な前面光学系を作る。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「頂点間距離の影響」の要点を示している。マイナスレンズを眼から遠ざけると眼位置での有効なマイナス度数は弱くなる方向に変化する。

総合解説：この問題は「眼鏡・コンタクトレンズ・屈折矯正・計算」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0147

生理光学・屈折矯正 > 眼鏡・コンタクトレンズ・屈折矯正・計算 | 難易度：応用

「眼鏡・コンタクトレンズ・屈折矯正・計算」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「コンタクトレンズは角膜近くに位置するため、高不同視で眼鏡より不等像視を軽減できることがある。」
ア．頂点間距離の影響
イ．近視の眼鏡矯正
ウ．高不同視でコンタクトレンズが有利な理由
エ．遠視の眼鏡矯正

0148

生理光学・屈折矯正 > 眼鏡・コンタクトレンズ・屈折矯正・計算 | 難易度：基礎

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「レンズ厚を考慮した酸素透過性（酸素透過係数/厚さ）。Dkは材料の酸素透過係数、Dk/tは実際のレンズ厚を考慮した酸素透過性の指標である。」
ア．頂点間距離の影響
イ．近視の眼鏡矯正
ウ．遠視の眼鏡矯正
エ．コンタクトレンズの酸素透過

答え・解説

正答：ウ

ア：「頂点間距離の影響」は別の論点である。主な要点は「マイナスレンズを眼から遠ざけると眼位置での有効なマイナス度数は弱くなる方向に変化する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「近視の眼鏡矯正」は別の論点である。主な要点は「近視眼では平行光線が網膜前方に焦点を結ぶため、発散レンズで眼へ入る光束の収束を弱める。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「高不同視でコンタクトレンズが有利な理由」の要点を示している。コンタクトレンズは角膜近くに位置するため、高不同視で眼鏡より不等像視を軽減できることがある。
エ：「遠視の眼鏡矯正」は別の論点である。主な要点は「遠視眼では焦点が網膜後方に位置するため、収束レンズで光学系の屈折力を補う。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼鏡・コンタクトレンズ・屈折矯正・計算」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「頂点間距離の影響」は別の論点である。主な要点は「マイナスレンズを眼から遠ざけると眼位置での有効なマイナス度数は弱くなる方向に変化する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「近視の眼鏡矯正」は別の論点である。主な要点は「近視眼では平行光線が網膜前方に焦点を結ぶため、発散レンズで眼へ入る光束の収束を弱める。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「遠視の眼鏡矯正」は別の論点である。主な要点は「遠視眼では焦点が網膜後方に位置するため、収束レンズで光学系の屈折力を補う。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「コンタクトレンズの酸素透過」の要点を示している。レンズ厚を考慮した酸素透過性（酸素透過係数/厚さ）。Dkは材料の酸素透過係数、Dk/tは実際のレンズ厚を考慮した酸素透過性の指標である。

総合解説：この問題は「眼鏡・コンタクトレンズ・屈折矯正・計算」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0149 生理光学・屈折矯正 > 眼鏡・コンタクトレンズ・屈折矯正・計算 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「RGPレンズ下の涙液層が角膜不整を埋め、より規則的な前面光学系を作る。」

ア．頂点間距離の影響
イ．コンタクトレンズの涙液レンズ効果
ウ．近視の眼鏡矯正
エ．遠視の眼鏡矯正

0150 生理光学・屈折矯正 > 眼鏡・コンタクトレンズ・屈折矯正・計算 | 難易度：標準

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「Prenticeの法則 $P=cF$ で、5 mm=0.5 cm、 $0.5 \times 4=2$ となる。」

ア．眼鏡レンズの偏心によるプリズム効果
イ．頂点間距離の影響
ウ．近視の眼鏡矯正
エ．遠視の眼鏡矯正

答え・解説 正答：イ

ア：「頂点間距離の影響」は別の論点である。主な要点は「マイナスレンズを眼から遠ざけると眼位置での有効なマイナス度数は弱くなる方向に変化する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「コンタクトレンズの涙液レンズ効果」の要点を示している。RGPレンズ下の涙液層が角膜不整を埋め、より規則的な前面光学系を作る。
ウ：「近視の眼鏡矯正」は別の論点である。主な要点は「近視眼では平行光線が網膜前方に焦点を結ぶため、発散レンズで眼へ入る光束の収束を弱める。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「遠視の眼鏡矯正」は別の論点である。主な要点は「遠視眼では焦点が網膜後方に位置するため、収束レンズで光学系の屈折力を補う。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼鏡・コンタクトレンズ・屈折矯正・計算」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「眼鏡レンズの偏心によるプリズム効果」の要点を示している。Prenticeの法則 $P=cF$ で、5 mm=0.5 cm、 $0.5 \times 4=2$ となる。
イ：「頂点間距離の影響」は別の論点である。主な要点は「マイナスレンズを眼から遠ざけると眼位置での有効なマイナス度数は弱くなる方向に変化する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「近視の眼鏡矯正」は別の論点である。主な要点は「近視眼では平行光線が網膜前方に焦点を結ぶため、発散レンズで眼へ入る光束の収束を弱める。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「遠視の眼鏡矯正」は別の論点である。主な要点は「遠視眼では焦点が網膜後方に位置するため、収束レンズで光学系の屈折力を補う。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼鏡・コンタクトレンズ・屈折矯正・計算」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08